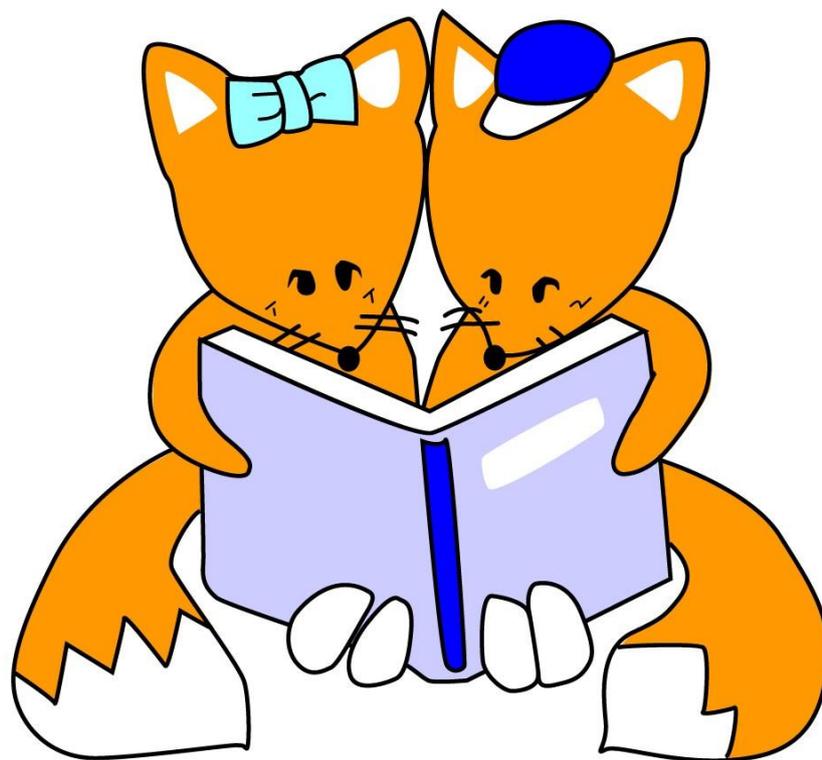


第四次館林市子ども読書活動推進計画

こんこん読書プラン（案）

— ともにはぐくもう 読みたい心
つなげよう 読書のバトン —



令和6年3月

もくじ

はじめに	2
第1章 計画の趣旨	3
第2章 第三次計画の成果と課題	5
第3章 基本方針	19
第4章 施策目的	32
第5章 具体的な取り組み	37
第6章 計画の進行管理	40
注 釈	41
資 料	
1 施設動向調査集計結果（平成29年度比較）	43
2 意識調査集計結果（年代別）	46
3 学校図書館貸出冊数推移	52
4 館林市立図書館年代別分類別貸出冊数推移	54
5 策定までの経緯	56
6 館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議設置要綱 （平成30年7月1日館林市教委告示第14号）	57
7 子どもの読書活動の推進に関する法律 （平成13年法律第154号）	59

はじめに

読書は、成長の各段階において、自己の存在を肯定的に捉え、人生をより豊かに生きるための活力となる重要な活動です。特に、子どもにとっては多くの言葉を学び、豊かな感性を磨き、表現力を高め、創造力を育むために欠くことのできないものです。更に、著しく変化する現代社会、そして未来を生き抜くために、読書活動を通し、自ら整理した確かな情報をもとに自分の考えを表現していく力を育むことも大切です。子どもが読書に親しむために、社会全体が子どもの読書活動の重要性を認識して、積極的に環境を整えながら、継続的に支援していく必要があります。

平成13年に『子どもの読書活動の推進に関する法律』が成立してから、23年が経過しました。この法律は、子どもの読書活動の推進に関して、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、国が子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画を策定、公表すること、4月23日を子ども読書の日とすること等を定め、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的としています。

この理念に基づき、本市では、平成21年3月に『館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』、平成26年3月に『第二次館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』、平成31年3月に『第三次館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』を策定しました。これらの計画によって、市立図書館、家庭、地域及び学校に関係機関等を加えた連携による事業を展開し、子どもの読書習慣の醸成に努めてきました。

しかしながら、近年の情報通信技術の進展と新型コロナウイルス感染症の流行にともなう在宅時間の増加等により、インターネット等を利用する子どもが増加し、生活環境の変化が子どもの読書環境にも影響を与えていると考えられます。また、すべての子どもたちの可能性を引き出すために、特別支援教室や日本語指導を必要とする児童等、多様な子どもたちの読書機会の確保に努めることが求められています。このような状況のなかで、子どもの読書習慣の定着のために教育機関等を始めとする社会全体が、今後も積極的に子どもたちを導いていかなければなりません。情報通信技術の進歩や価値観の多様化等、子どもとその読書活動を取り巻く環境においては、様々な変化に応じて計画の見直しと改善策を引き続き実施する必要があります。

こうしたことから、『第三次館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』の基本的な目的や考え方を引き継ぎながら、第三次計画の成果や課題、また、諸情勢の変化等进行分析検証、整理した上で、令和6年4月からの5年間を施行期間とする『第四次館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』を定め、子どもの読書活動を推進するための基本的方針と具体的な方策を明示するものです。

第1章 計画の趣旨

1 計画の目的

子どもたちが健やかに成長し、生涯にわたって豊かな人生を送れるようになるためには、日常生活の中で読書を習慣的に楽しみ味わっていくという経験を蓄積していくことが必要です。

この計画は、館林市の子どもたちが自ら進んで読書活動を行うことができるように、読書活動の推進に関する施策の方向性や取り組みを示すことを目的とします。

2 計画の位置づけ

この計画は、『子どもの読書活動の推進に関する法律』（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定並びに群馬県教育委員会が策定した『群馬県読書活動推進計画』を踏まえるとともに、『第三次館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』で定めた計画を継承、発展させるものとして策定します。

3 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間とします。なお、計画期間中であっても、必要に応じて見直しを行うこととします。

4 計画の対象

おおむね18歳以下の子どもとします。

5 計画の構成

第一次計画では、家庭、地域、市立図書館及び学校等の4つを計画推進の柱として事業を進めてきました。第二次計画では、上記の4つに市民団体をはじめとする関係機関等を加え、計画の拡充を図るとともに、連携の強化に努めました。第三次計画では、新型コロナウイルス感染症の流行による事業の中止や縮小も余儀なくされましたが、連携を維持しながら、発達段階に応じた取り組みと読書への関心を高めるための事業を実施しました。

これまでの計画の成果と課題を踏まえ、また、文部科学省が策定した『第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（令和5年3月）』を根幹に、本計画では、以下の5点を計画構成の中心とします。

- (1) 発達段階に応じた効果的かつ切れ目のない支援の促進
- (2) 子どもが主体の読書への関心を高める取り組み
- (3) 子どもの読書活動に役立つ情報通信技術を採用した取り組み
- (4) 多様な子どもたちの読書機会の確保
- (5) 子どもの要望・視点を取り入れた資料・環境整備

第2章 第三次計画の成果と課題

I 第三次計画の取り組みと成果

1 読書習慣の形成に向けた、発達段階ごとの効果的な取り組み

(1) 乳幼児期

① 読み聞かせ活動の支援

市立図書館をはじめ、保健センターや児童館、地域子育て支援センター、公民館等、乳幼児が利用する施設において親子で気軽に読書を楽しんでもらうため、絵本コーナーを設置し、読書活動の支援を行いました。

② 貸出文庫

市立図書館の資料が子どもたちの身近にあって気軽に手に取れるように、保育園、幼稚園、認定こども園及び公民館等に貸出文庫^[注1]として配本を行いました。

更に、園のおすすめ本リストを作成・配布し、情報交換・連携に努めました。
(こども課・市立図書館)

③ ブックスタートやフォローアップ活動

ブックスタート活動として、保健センターでの4か月児健診時にボランティアによるおすすめ絵本と絵本バッグのプレゼントを行い、絵本の読み聞かせや市立図書館利用案内等を配布しました。また、フォローアップ活動として、1歳6か月児健診時に市立図書館職員による大型絵本の読み聞かせや市立図書館利用案内の配布のほか、人気の幼児向け絵本の紹介等を行いました。

更に、ステップアップ活動として2歳児歯科健診・3歳児健診時でも大型絵本の読み聞かせ等を行い、活動の対象を広げました。令和2年1月からのコロナ禍以降ではブックスタート活動は保健師を通じて実施し、新型コロナウイルス警戒レベルが1以下になってからは、ボランティアによる活動及び市立図書館職員によるフォローアップ・ステップアップ活動を再開しました。(健康推進課・市立図書館)



ブックスタート活動



ステップアップ活動

(2) 小学生期

① 夏休み行事等、各種イベントの開催

季節行事として春の子ども読書の日記念行事や夏休み読書キャンペーン、読書感想文の書き方講座のオンライン配信及び図書館たんけん隊、自由研究おたすけ隊、秋の図書館フェスティバル、子ども読書通帳（冬特別版）の配布等、年間を通して図書館ボランティアや読み聞かせグループとともに、子ども向けイベントを協働して行いました。また、年間を通して使用できる子ども読書通帳も配布しました。

（市立図書館）



図書館たんけん隊



図書館ボランティア

② 学校との連携による市立図書館見学

小学校の市立図書館見学の受け入れを行い、館内探検と利用の仕方を案内しました。また、子どもたち自身が利用の仕方についてより理解しやすくなるように、新たに子ども版利用案内を作成し、配布しました。（市立図書館）

③ 放課後児童クラブやボランティアとの連携

市立図書館行事案内や読み聞かせ用の大型絵本リストを作成し、保育園、幼稚園等のほか、放課後児童クラブへも案内し、市立図書館のPRを行いました。また、夏休みや冬休み等の期間中、放課後児童クラブ等の見学受け入れを行いました。さらに、市立図書館で活動する読み聞かせグループの活動支援のほか、小学校等で活動する読み聞かせグループの研修会を開催しました。（市立図書館）

④ 読書感想文コンクール等、民間団体の活動に対する支援

各学校及び市立図書館での課題図書や群馬県すいせん図書（夏・冬）の貸出しのほか、学校と連携し冬休み読書感想画展を開催し、子どもの作品展示と関連図書の展示・貸出しを行い、市立図書館を訪れる市民へPRを行いました。

（市立図書館）



子ども音読・朗読教室



児童読書感想画展

(3) 中学生期以降

① ヤングアダルト^[注2]コーナーの充実

中高生におすすめ本のほか、テレビやインターネットで話題の本を定期的に購入し、配架しました。また、令和5年度よりヤングアダルトコーナーの近くにメディア化コーナー^[注3]（常設）を設け、テレビや映画等で話題の本や原作本などの図書の展示・貸出しを開始しました。（市立図書館）

② 将来を考えるための図書の充実

10代からのメンタルケアや生き方、お金やライフプラン、SDGs、選挙権や社会参加に関する本の充実を図りました。（学校・市立図書館）

③ 進学、就職及び資格取得等に関する図書の充実

職業別の情報や、大学や高校などへ進学する際の情報が載った図書「なるにはブックス」シリーズや「ポプラディアプラス仕事・職業図鑑」等を揃え、ヤングアダルトコーナーや調べ学習^[注4]コーナーで配架・貸出しを行いました。（市立図書館）

④ 学校との連携による職業体験

職場体験学習を受け入れ、参加した中学生に図書館業務を通じて図書館や読書の魅力を伝え、市立図書館の利用促進を図りました。（市立図書館）



職場体験（本の装備）



職場体験（ステップアップ活動）

⑤ 読書感想文コンクール等、民間団体の活動に対する支援

課題図書の出しや、群馬県すいせん図書（夏・冬）の出しを行いました。
（学校・市立図書館）

2 友人同士で図書をすすめる等、読書への関心を高める取り組み

(1) 保護者に対する読書活動の啓発及び支援

① 読書を通じた親子のコミュニケーション

保健センター及び児童センター等では常設した絵本コーナーを活用し、絵本を介して親子の心が通い合えるように働きかけました。（健康推進課・こども課）

② 家庭教育学級の開催

公民館で家庭教育学級の読み聞かせ講座を開催し、親子読書の重要性を学ぶ機会を提供しました。（生涯学習課）

(2) 市立図書館における子ども司書体験等

職場体験でのカウンター業務のほか、本の装綴を学ぶなど、司書ならではの業務を体験する機会を提供しました。（市立図書館）

(3) 学校図書委員（児童生徒）を中心とした読書活動のための支援及び啓発

小中学校では図書委員による読み聞かせやおすすめ本の紹介・展示を行いました。また、市立図書館では各中学校図書委員を中心としたおすすめ本コーナーを企画・設置し、学校図書館と市立図書館相互の利用促進を図りました。（学校・市立図書館）



第二中学校図書委員おすすめ企画



第三中学校図書委員おすすめ企画

(4) 各施設及び関係機関等が主催する読書会の支援、情報提供

ふるさとづくり市民フェスティバルにおいて、読み聞かせボランティアをはじめとした図書館利用団体の活動展示を行いました。（市立図書館）

(5) ブックトーク^{〔注5〕}及びビブリオバトル^{〔注6〕}の啓発及び支援

ブックトークやビブリオバトルに関する本を購入し情報提供に努めたほか、「全国ビブリオバトルチャンプ本」企画を実施し、図書の展示・貸出しを行いました。(市立図書館)

また、学校では児童製作によるおすすめ本のポスターを用いたビブリオバトルのほか、授業において児童同士で本をすすめ合う活動を行いました。(学校)

(6) その他効果的な読書活動の啓発及び支援

小学校では図書だより等において多読クラスや学年、多読上位者の紹介を行い、読書活動の啓発・支援を行いました。また、小学校で熱心に活動を続ける読み聞かせボランティア団体に対し、群馬県読み聞かせボランティア顕彰に推薦し、活動の評価と支援を行いました。(学校・市立図書館)

3 子どもの読書環境に影響を与える、情報通信技術を採用した取り組み

(1) スマートフォンを利用した読書活動の啓発

ホームページをリニューアルし、スマートフォンでも見やすい画面に変更しました。(市立図書館)

(2) ホームページやSNS等を利用した市立図書館の事業の広報

利用案内やイベント情報を市立図書館ホームページや市公式X(旧ツイッター)を活用して案内しました。(市立図書館)

また、保護者向け情報配信ツール(C4th Home & School)にてイベント情報の配信を行いました。(学校教育課・市立図書館)

(3) 学校等における実態調査の実施

毎年度、学校における図書貸出冊数等を調査しました。(教育総務課)

また、子どもの読書活動実態調査を実施し、調査結果(好きな本等)も参考に図書の選定・購入を行いました。(市立図書館)

調査のいずれも紙面及びEメールによるもので、特定の情報通信技術の採用には至りませんでした。

(4) その他ICTの発展に応じた情報の習得及び利活用

Wi-Fi環境の運用を開始するとともに、図書システムを更新し、クラウド化を行いました。(市立図書館)

また、学校図書館でも新システムの更新を行い、市立図書館での学校図書館関係者研修会にて新システム操作研修を行いました。(教育総務課)

4 その他の取り組み

(1) 公民館による取り組み

① 図書コーナーの整備と充実

図書コーナーでは利用者からの声を市立図書館と共有し、ニーズに応えた図書を配架し、図書利用の拡大に努めました。

② 地域住民への啓発や読み聞かせの実施

公民館だよりにおすすめ図書を掲載して周知を図る等、読書活動の啓発に努めました。また、季節に合わせた絵本の読み聞かせを行いました。

(2) 児童館・地域子育て支援センターによる取り組み

① 本に親しむ機会の提供

乳幼児を対象とする各種教室において、職員やボランティアによる読み聞かせを行うことにより、親子で本に親しむ機会を提供しました。

② 保護者への啓発

親子で楽しく読書できるように、図書の展示を工夫し図書室の充実を図りました。また、家庭に読書習慣が取り入れられるように、月齢・年齢に応じた図書の紹介等を通じて、読書の楽しさや重要性を伝えることに努めました。

(3) 市立図書館における取り組み

① 児童図書の充実

乳幼児から青少年向けまで幅広く、多種多様な図書資料を計画的に整備し、子ども室とヤングアダルトコーナーに配架しました。また、子ども読書の日に併せて市立図書館職員おすすめ本の貸出企画「本の福袋」を実施しました。

そして、貸出文庫の絵本等を対象に、各園のおすすめ本（推し本）リストを作成し、市立図書館及び園相互の情報共有を図りました。



本の福袋



推し本リスト

② 学習の支援

小中学生の調べ学習コーナーの机と椅子をリニューアルするとともに、1階にカウンターテーブルを設置し学習席を増やしました。

また、家庭での読書支援と利便性向上のため子ども室の平日利用時間を19時まで延长了。更に、コロナ禍で外出が困難な時期においては、読書感想文の書き方講座を動画配信で実施しました。

夏休み期間には、向井千秋記念子ども科学館（以下「子ども科学館」という。）の行事では、自由研究相談会の際に自由研究おたすけ隊として、資料の探し方等、調べ学習の支援を行いました。

③ 資料の整備

利用者が求める情報を速やかに提供できるよう本の情報を整備し、読書感想文の課題図書や群馬県すいせん図書、シリーズ図書の情報の統一や追加を行いました。

また、貸出し可能な本で館林市出身の作家等、地域に関する図書についても利用・保存しやすいよう情報を整備しました。

④ 施設の充実

車椅子やベビーカー等での利用がしやすいよう、正面玄関のスロープを改修しました。また、利用者の利便性向上のため、セルフ貸出機の試行を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として、子ども室と視聴覚室には空気清浄機を設置したほか、1階カウンターに来館者用サーマル検温機と図書除菌機を設置しました。

(4) 学校等における取り組み

【保育園・幼稚園・認定こども園】

- ① 乳幼児を対象とするおはなし会を開催しました。
- ② 読書活動の啓発を目的として、園だより等で年齢に応じたおすすめ本の紹介や読み聞かせの大切さを保護者へ伝えました。

【小学校・中学校等】

① 児童生徒の読書習慣の充実

読書への意識を高め、読書習慣が身に付くように、朝の校内一斉読書やボランティアによる読み聞かせを実施しました。また、図書や児童生徒の読書活動を紹介するために、図書だより等の発行やポスターの掲示等を行いました。

② 学校図書館の環境整備と充実

蔵書内容の充実を目指して選書に努めたほか、ボランティア等の地域人材を活用して、家庭及び地域との連携の強化に努めました。

③ 学校図書館関係者の連携体制

各小中学校図書館に、学校司書を配置しました。そして、市立図書館が主催する学校図書館関係者研修会へ参加し、情報交換の機会を設けました。また、連携により、市立図書館では夏休み期間に小中学校の学校司書おすすめ本の展示・貸出を行ったほか、秋の読書週間に館林邑楽地区の高校の学校司書によるおすすめ本企画を開催しました。



学校図書館関係者研修会



館林邑楽地区の高校司書おすすめ企画

(5) 関係各課による取り組み

- ① 家庭、地域、学校等、関係各課及び市立図書館で連携を保ちながら、地域人材の活用やボランティア活動の支援を図りました。



クリスマスおはなし会



読み聞かせ絵本講座

- ② 子ども科学館をはじめ、市で主催する事業に関連した図書の企画展示を実施しました。(テーマ「南極」「科学館で5・7・5」(子ども科学館)、「環境月間・熱中症」(地球環境課)、「自閉症啓発」(社会福祉課)、「自殺予防月間」(健康推進課)等) また、第一資料館と連携し、郷土に関する企画展示に関連する本のリストを配布しました。
- ③ 市立図書館が主催する研修会その他企画、施設への図書配送の際において、図書教諭、学校司書、保育士、幼稚園教諭、公民館主事及びその他関係団体と情報の共有化を図り、子どもの読書に対するニーズを捉え、子どもに対する読書啓発に活かしました。

- ④ 子ども科学館の「えほん de かがく」など、関係機関等が実施する各事業において、内容の充実を図るために、市立図書館等の資料を取り入れました。これにより、事業の規模と内容の拡充を得られるとともに、読書活動の推進を図ることができました。

2 取り組みからみる成果のまとめ

第三次計画の目標である読書習慣の形成に向けた発達段階ごとの取り組みは、新型コロナウイルス感染症の流行期においてやむなく中止となる事業もありましたが、コロナ禍での在宅時間を応援するための貸出冊数枠の拡大や、電話による貸出期間の延長等、事業の実施方法を変更するなどして、維持・継続することができました。

一方、友人同士で図書をすすめ合う等、読書への関心を高める取り組みについては、学校図書館や施設等の休館の影響により、十分な実施には至りませんでした。小中学校・市立図書館では、図書委員のおすすめ本企画やビブリオバトルの開催等を通じ、児童生徒の視点から本を紹介する機会を提供しました。また、子どもの読書環境に影響を与える情報通信技術を採用した取り組みとして、市立図書館では図書館ホームページを利用した行事事案内をはじめ図書館システムのクラウド化や Wi-Fi の導入等を行い、学校図書館では図書貸出システムの更新を行いました。

その他の取り組みとして、地域子育て支援センターや保育園、幼稚園、認定こども園、学校、児童館、公民館等による事業を通じて、保護者と子どもが本に触れる機会を増やすための啓発・支援に努めました。地域における取り組みでは、公民館内に本の紹介を掲示する等、市立図書館と連携して公民館図書を利用しやすいように図書コーナーを充実させました。学校等では、年間行事として定期的に朝読書や読み聞かせの時間を設けるなど、学校全体として読書活動を推進しました。

また、関係機関等では、イベント開催時に市立図書館と連携し、関連図書の紹介を通じて事業内容の拡充を図りました。市立図書館では、子ども室に空気清浄機、貸出カウンターに図書除菌機を設置するなど安心して来館・利用できる環境を整備するとともに、年間を通して子どもが図書に触れる機会を増やすため、季節行事の内容を充実させた様々な事業を展開していきました。本の福袋（春）、夏休み読書キャンペーン（夏）、図書館フェスティバル（秋）、子ども読書通帳（冬限定版）配布等の事業を通じて、子どもたちへの読書への動機づけを図りました。



夏休み読書キャンペーン



小中学校の学校司書おすすめ企画

3 第三次計画（5 年）策定後から現在までの経過

(1) アンケート結果からみる課題（施設動向調査：令和 5 年 3 月 31 日現在）

※アンケートの詳細は P43 へ

① 家庭における読書活動の啓発

施設名	令和 4 年度			平成 29 年度			している 増減比
	している	していない	している 割合	している	していない	している 割合	
小学校	9	2	81.8%	11	0	100.0%	△ 18.2%
中学校	4	1	80.0%	2	3	40.0%	40.0%
保育園	9	0	100.0%	9	0	100.0%	0.0%
幼稚園	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%
公民館	2	9	18.2%	4	7	36.4%	△ 18.2%
児童館	1	2	33.3%	3	0	100.0%	△ 66.7%
支援センター	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%

- コロナ禍による利用制限等に伴い実施施設が減少し、家庭における読書活動の啓発機会の減少が考えられます。
- 中学校では実施校が増加しました。
- 未実施施設においては啓発を実施・再開していく必要があります。

② 読み聞かせの実施

施設名	令和 4 年度				平成 29 年度				している 増減比	平均回数 増減		
	している	回数計	平均回数	していない	している 割合	している	回数計	平均回数			していない	している 割合
小学校	11	141	12.8	0	100.0%	11	241	21.9	0	100.0%	0.0%	△ 9.1
中学校	0	0	0.0	5	0.0%	0	0	0.0	5	0.0%	0.0%	0
幼稚園	5	2,640	528.0	0	100.0%	5	1,235	247.0	0	100.0%	0.0%	281
保育園	9	32,400	3,600.0	0	100.0%	9	2,223	247.0	0	100.0%	0.0%	3,353
公民館	1	1	1.0	10	9.1%	0	0	0.0	11	0.0%	9%	1
児童館	3	47	15.7	0	100.0%	3	122	40.7	0	100.0%	0.0%	△ 25
支援センター	5	790	158.0	0	100.0%	5	1,088	217.6	0	100.0%	0.0%	△ 59.6

※保育園では令和 4 年度に毎日 3 回読み聞かせを実施（平日 240 日・毎クラス）

※読み聞かせ回数が毎日の場合は、平成 29 年度は平日 247 日として算定しています。

※平成 29 年度の読み聞かせ回数において範囲のみ判明している場合は、中央値を採用しています。

- 保育園・幼稚園では読み聞かせの実施回数が増加しました。
- 児童館や支援センターなどで実施回数が減少しました。両施設での活発な読み聞かせ活動の再開と併せて公民館での読み聞かせの回数を増やしていくことが必要です。

③ 朝の読書活動、読書活動を推進する活動

施設名	令和4年度						平成29年度						している 増減比
	している	平成29年度比			していない	している 割合	している	平成24年度比			していない	している 割合	
		増えた	同じ	減った				増えた	同じ	減った			
小学校	10	3	4	2	1	90.9%	11	5	6	0	0	100.0%	△ 9.1%
中学校	5	1	3	1	0	100.0%	5	1	3	1	0	100.0%	0.0%

- 小学校では実施校が1校減少、活動の減少が見られた学校が2校、活動を維持または以前より増加した学校が7校となっています。
- 諸行事が多くなり時間の確保が難しい状況でも、朝行事等の一環として、定期的な行事予定に組み込むなど、活動の実施と継続が課題です。

④ 学校図書館における図書の整備状況

施設名	令和4年度						平成29年度						受入冊数 増減比	現有冊数 増減比	電算化 増減比
	受入冊数計	現有冊数	資料の電算化			受入冊数計	現有冊数	資料の電算化							
			している	していない	割合			している	していない	割合					
小学校	3,636	130,772	11	0	100.0%	4,614	129,111	11	0	100.0%	△ 21.2%	1.3%	0.0%		
中学校	2,707	75,592	5	0	100.0%	2,756	71,478	5	0	100.0%	△ 1.8%	5.8%	0.0%		

- 現有冊数は小学校、中学校ともに増加しています。
- 小学校での受け入れ冊数が21%減少しています。情報の古くなった図書や破損本等の除籍が行われていることも背景にありますが、引き続き図書購入費についての予算の確保とともに、今後、多様な本については他校や市立図書館からの相互に利用できる仕組みが必要です。

⑤ 学校図書館における新聞配備数(令和4年度実績分より調査項目に追加)

施設名	令和4年度					
	1紙	2紙	3紙	5紙	8紙	合計
小学校	4	3	2	1	1	100%
中学校	0	4	1	0	0	100%

- 新聞の配備率は小中学校ともに100%です。複数紙を配備しているのは、小学校で64%、中学校で100%となっています。
- 成年年齢18歳への引き下げにともない、児童生徒が主体的に必要な資質や能力を身につけていくためには、学校図書館への新聞の複数紙配備も有効です。

(1校あたりの目安：公立小学校等：2紙、公立中学校等：3紙)

※参考：第6次学校図書館図書整備等5か年計画(文部科学省：令和4年～8年度)

⑥ 多様な子どもたちへの読書機会の提供(令和4年度実績分より調査項目に追加)

施設名	令和4年度		
	している	していない	割合
小学校	8	3	73%
中学校	5	0	100%

- 特別支援教室の子どもや日本語能力に応じた支援を必要とする子どものために、L1ブック^[注7]や多言語対応のほか、やさしい日本語で読みやすい本のコーナーの設置や本の案内、読み聞かせなど、子ども一人一人に応じた働きかけが必要です。

⑦ 学校図書館関係者の連携及び協力体制

施設名	令和4年度					平成29年度					とれている増減比
	連携				とれている割合	連携				とれている割合	
	とれている	ややとれている	ややとれていない	とれていない		とれている	ややとれている	ややとれていない	とれていない		
小学校	9	2	0	0	100.0%	9	2	0	0	100.0%	0.0%
中学校	4	1	0	0	100.0%	3	1	1	0	80.0%	20.0%

※「とれている割合」は、「とれている」と「ややとれている」の合計です。

- 教員、司書教諭、学校司書との連携率は小中学校ともに100%となりました。
- 学校長を中心に図書室の「読書・学習・情報センター」としての機能が最大限に発揮できるように、校内での連携を強化するとともに、近隣の保育園・幼稚園・認定こども園から小学校、そして中学校と、縦の連携も充実していく必要があります。※参考：学校図書館ガイドライン（文部科学省）

⑧ 図書の貸出状況

施設名	令和4年度					平成29年度					している増減比	平均冊数増減
	している	冊数	平均冊数	していない	している割合	している	冊数	平均冊数	していない	している割合		
小学校	11	360,792	103.5	0	100.0%	11	421,249	108.0	0	100.0%	0.0%	△4.5
中学校	5	19,204	10.3	0	100.0%	5	26,429	12.6	0	100.0%	0.0%	△2.3
公民館	11	2,251	204.6	0	100.0%	11	992	90.2	0	100.0%	0.0%	114.5
児童館	3	98	32.7	0	100.0%	3	392	130.7	0	100.0%	0.0%	△98.0

※図書充実状況調査(教育総務課調)に基づき、11件分としています。

※「している」内の平均は、小学校、中学校においては1人当たりの平均として、その他は冊数/施設数としています。

※コロナウィルス警戒レベル1の時に図書の貸出しを実施しました。(児童センター)

- 児童館についてはコロナ禍による長期の利用制限から、一人あたりの貸出冊数が大幅に減少しましたが、子どもの読書活動の中心である学校図書館での減少幅は、4.5冊(小学校)、2.3冊(中学校)にとどまりました。
- 公民館での利用が増えました。図書入れ替え時の来館者への声掛けや案内表示等のほか、要望に応じた図書の配送等のサービスによるものと推察されます。今後はより要望に応えるための予算の確保と多様な図書の充実・提供が課題です。

⑨ 地域人材の活用状況

施設名	令和4年度			平成29年度			している 増減比
	している	していない	している 割合	している	していない	している 割合	
小学校	11	0	100.0%	11	0	100.0%	0.0%
中学校	0	5	0.0%	0	5	0.0%	0.0%
保育園	1	8	11.1%	2	7	22.2%	△ 11.1%
幼稚園	1	4	20.0%	5	0	100.0%	△ 80.0%
公民館	2	9	18.2%	-	-	-	-
児童館	1	2	33.3%	-	-	-	-
支援センター	1	4	20.0%	5	0	100.0%	△ 80.0%

- コロナ禍による施設への立ち入り制限の影響等で、幼稚園、支援センターでの地域人材による読み聞かせが大幅に減少しました。
- 小学校では長期間休止していた活動が再開されています。
- 地域人材の活用を再開するとともに、より充実した読み聞かせ活動のために、人材の育成と拡充が不可欠です。そこで、地域の人材が集まる公民館での講座等の開催支援も必要です。

⑩ その他読書活動に関する情報発信や啓発活動

施設名	令和4年度			平成29年度			している 増減比
	している	していない	している 割合	している	していない	している 割合	
小学校	9	2	81.8%	8	3	72.7%	9.1%
中学校	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%
保育園	8	1	88.9%	9	0	100.0%	△ 11.1%
幼稚園	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%
公民館	2	9	18.2%	7	4	63.6%	△ 45.5%
児童館	3	0	100.0%	2	1	66.7%	33.3%
支援センター	3	2	60.0%	4	1	80.0%	△ 20.0%

- ポスターの掲示や委員会活動、おすすめ本の紹介等により、小学校の情報発信比率が増加したほか、中学校、幼稚園、特に児童館では100%となりました。
- 公民館での情報発信等の比率が大幅に減少しました。
 今後は情報発信の再開に加え、夏休みなどの長期休暇期間等を中心に子どもたちに市立図書館や公民館等の場所を知ってもらい、各施設の読書空間を利用できるような取り組みなども必要です。

(2) 今後の課題

乳幼児期の子どもは、第三次計画においても読み聞かせ活動が重点的に推進されたことから、図書に触れる多くの機会を得ることができました。特に、幼稚園の読み聞かせの実施回数は、著しく増加しています。これは職員自らが毎日の行事として実施したためと考えられます。そうしたことから、乳幼児期に対する読書活動推進への取り組みは、成果を得ることができたといえます。

小学生期の子どもは、教師の指導等によって本に触れる機会が多いことから、読書に対する意識はおおむね高いと考えられます。しかしながら、本アンケートの「⑧図書の貸出状況」にあるように、平成29年度と令和4年度の調査を比較すると、小中学校での1人当たりの貸出冊数は小学生が108冊から103.5冊に、中学生が12.6冊から10.3冊となり、両年代でやや減少しています。このことから、乳幼児期から小学生期までにかけて慣れ親しんだ読書活動は、依然として中学生期に引き継がれていないことがわかります。

中学生期以降の子どもは、学校生活の内外において、勉強や部活動等、多くの活動が組み込まれるほか、活動の選択肢は増えていきます。そして、子どもにとっての読書活動は、多くの選択肢の中から自らの意志で選ぶものとなっていきます。また、中学生期以降に推奨される図書は、文字数の多さや難解さ等、気軽に読むことができない内容が多くなっていきます。こうした様々な要因から、多くの子どもたちは、次第に読書から離れていくと考えられます。

また、第三次計画施行時に実施していた取り組みのいくつかは、諸情勢の変化によって、役割を果たし終えています。そうした取り組みに代わり、現在の子どもたちを取り巻く環境に即した、新たな取り組みを実施していく必要があります。

第三次計画期間では、GIGAスクール構想により小中学校で一人一台端末の整備と通信ネットワーク環境の整備が進められ、配布された端末により学校内外の様々な情報資源にアクセスできる環境が実現しました。子どもたちの調べ学習等がより効果的に行われることが期待されており、今後、調べ学習の際の学校図書館や市立図書館の蔵書検索を同端末から可能とするためには、学校図書館と市立図書館をオンラインでつなぐ図書館ネットワークの整備が課題です。また、学校間及び学校・市立図書館間の資料の相互貸借を行っていくことで、限られた予算のなかにおいても、資料の有効利用を図ることが期待されます。

また、近年の成年年齢18歳への引き下げに伴い、児童生徒が主体的に主権者として自ら考え判断していく力を身につけるためには、学校図書館図書標準の達成のみならず、新聞配備の充実に努めることも重要です。

加えて、読書バリアフリー法^[注8]の観点から、LLブックをはじめ、誰もが読みやすい図書の充実のほか、増加する外国籍の子どもと保護者についても、理解しやすい日本語等での利用案内や施設表示、図書の配置も望まれます。

第3章 基本方針

1 子ども読書活動に関する実態の分析と取り組みの方向性

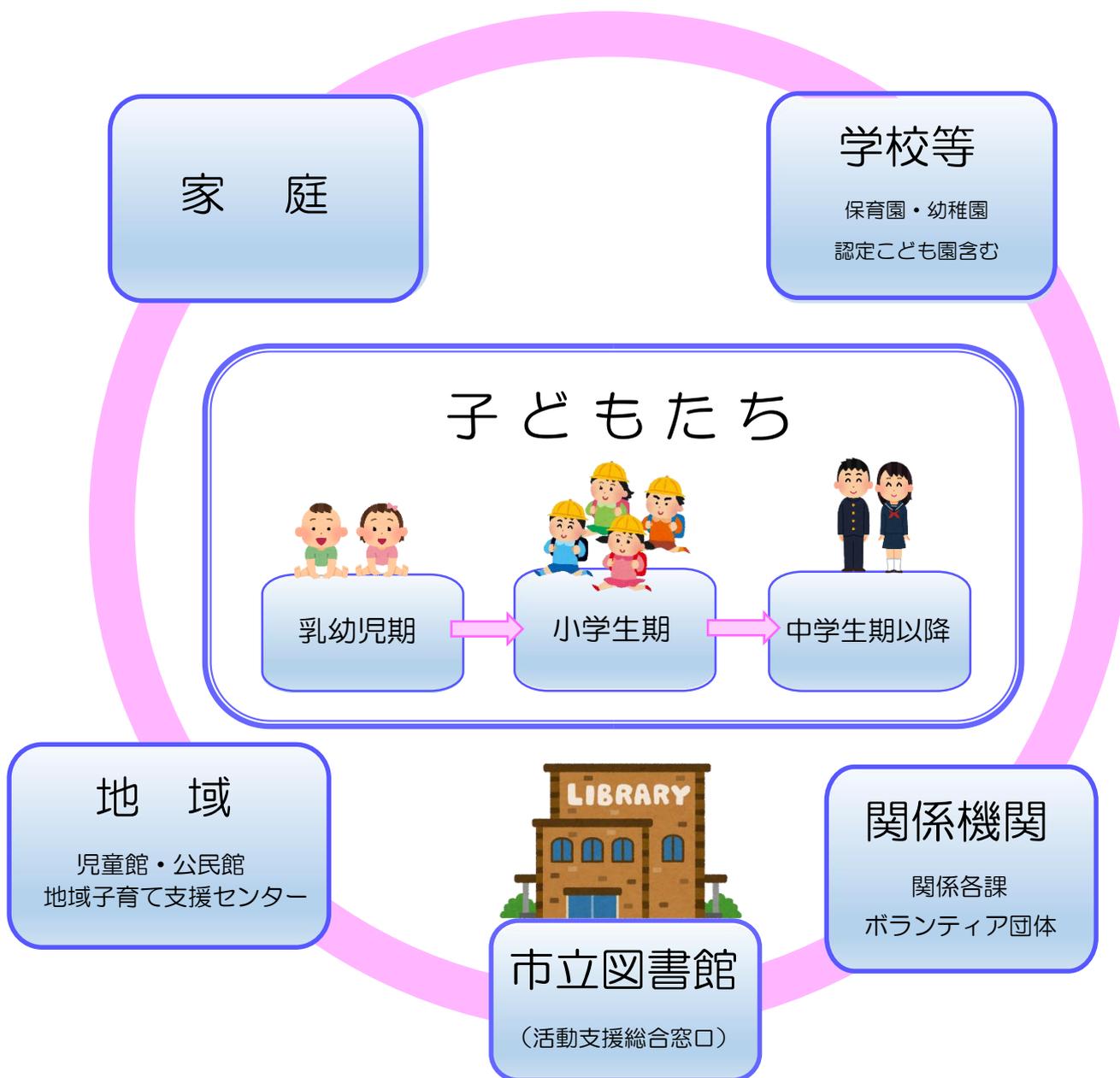
小学校低学年までは、保護者による読み聞かせや市立図書館等へ親子で訪れるなど、幼少期からの読書活動により育まれた読書への関心が維持されていますが、成長につれて興味・関心の割合が低くなる傾向にあります。子どもは、成長とともに自己の活動域や視野が広がり、活動の選択肢は多くなっていきます。小さい頃には、限られた世界の中にあつた読書活動が、その成長とともに、多くの選択肢の中のひとつとなり、自らの意志によって選び、貴重な時間と労力を費やす行為となっていきます。そうした実態から、幼少期から培ってきた読書習慣を、自らの成長に合わせて継続していくことが困難になり、多くの子どもが読書から遠ざかっていく傾向にあります。

中学生期以降に推奨される図書は、文字数が増え、漢字が多くなり、難解な文章となってきます。内容も深くなり、気軽に読めなくなります。こうしたことから、親しみやすいマンガやテレビ、ゲームと比較すると、興味や関心が低くならざるを得ないといえます。そして、中学生期以降の子どもが余暇を過ごす際は、活動の幅が多岐に広がるため、優先順位の高い活動を選んでいくことになります。読書の時間を確保するためには、他の活動にかかる時間を短くしなければならないため、子どもと図書との距離は、次第に離れていってしまいます。5年前と比較すると、その傾向はより低年齢化して小学5年生頃には読書離れが始まりつつあることが推測されます。

こうした状況を踏まえると、大人が子どもに読ませたい図書ばかりでなく、気軽に読める娯楽性の高い図書や子ども自らが手に取りやすい図書を、読書活動を始める契機の図書として引き続き位置づけながら、学校図書館はもちろん、公民館や児童館、市立図書館など、身近に図書を利用できる場所も含め、子どもと保護者に情報を発信していく必要があります。また、親子ともに気分転換できる居心地の良い空間として、気軽に訪れることができる図書スペースの魅力向上も必要です。

同時に、読書活動が友情を深め、素晴らしい人間関係を築くことに効果があると認識されるよう、様々な支援を進めていくことが重要です。そうした多角的な取り組みによって、図書への親近感を持ってもらい、いずれは心に残る一冊と出会えるように、長期的視野に立って、子どもの読書活動を推進していくこととします。

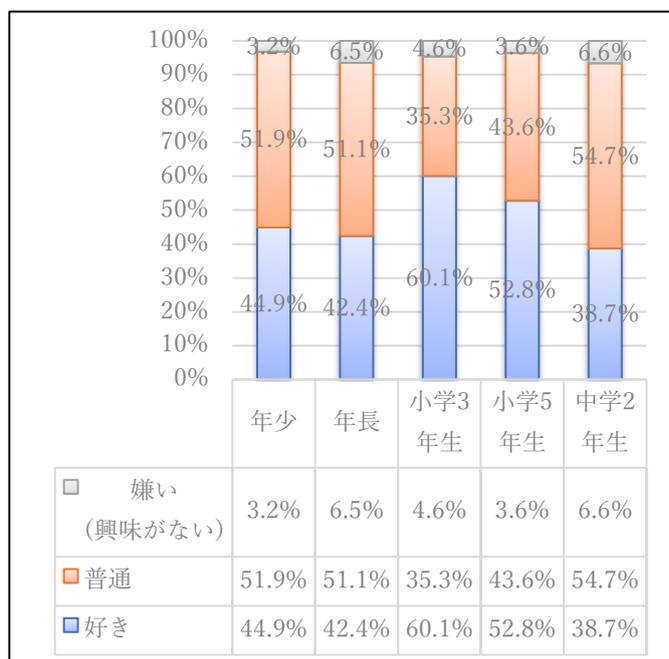
2 『第四次館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン』体系図



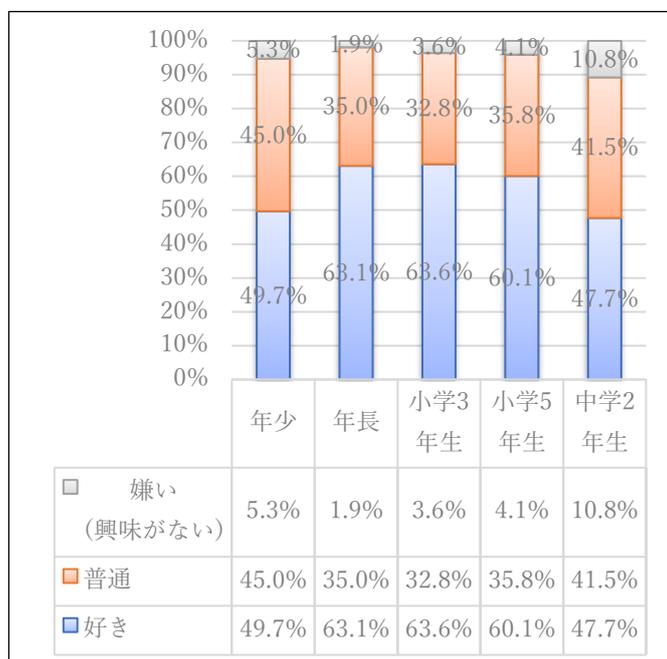
3 意識調査からみる子どもの読書活動の実態

※アンケートの詳細は P46 へ

① 読書に対する好感度



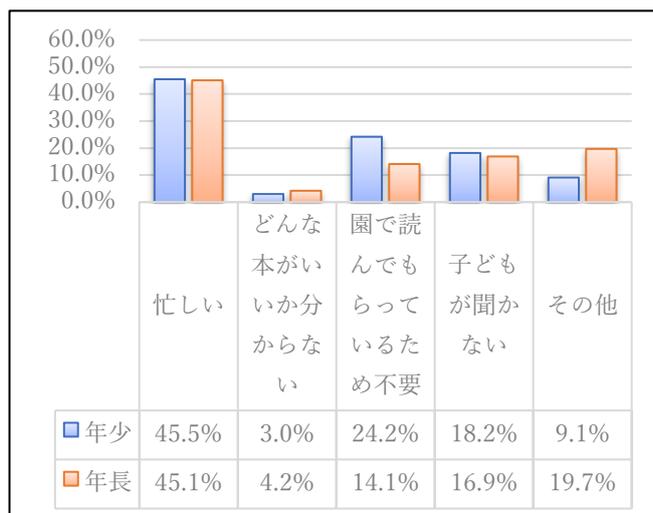
令和 5年



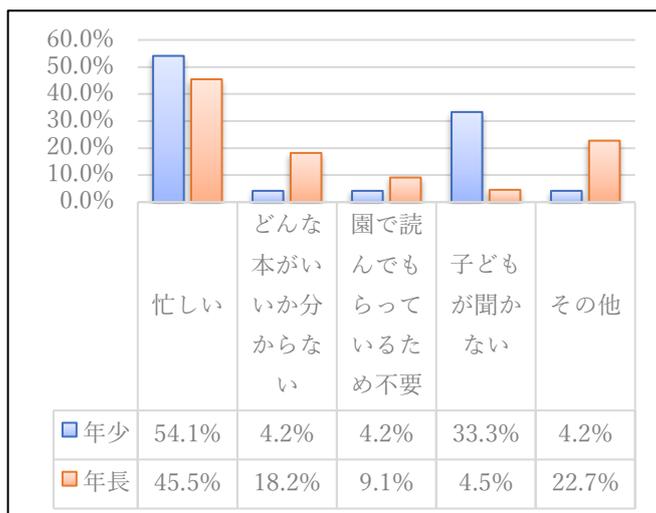
平成 30年

✎ 小学3年生の「好き」の割合60.1%をピークに、小学5年生では7.3%減、中学2年生では21.4%減と読書への好感度は減少しています。このことは5年前と同様に読書への興味が継続していないことを示しています。

② 家庭で読み聞かせをしない理由 (複数回答可)



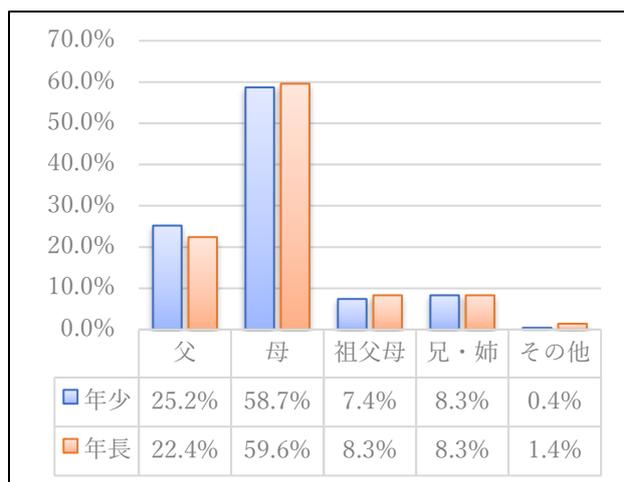
令和 5年



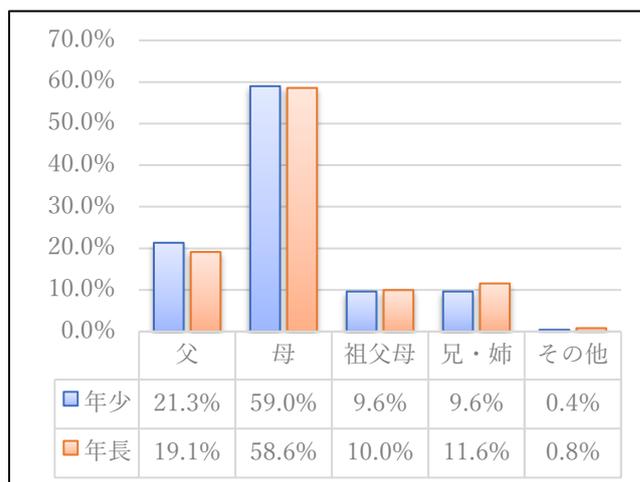
平成 30年

✎ 保護者の「忙しい」が、主な理由です。家庭での読書活動を支援するためには、引き続き保護者への読み聞かせの啓発・助言とともに、保育園・幼稚園・認定こども園での子どもたちが自ら選んだ本の定期的な貸出しを各園で積極的に行っていくことが効果的です。

③ 家庭で読み聞かせをする人（複数）



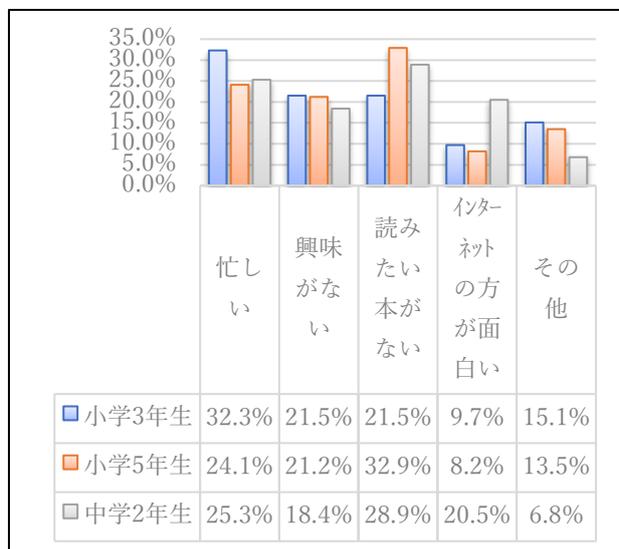
令和5年



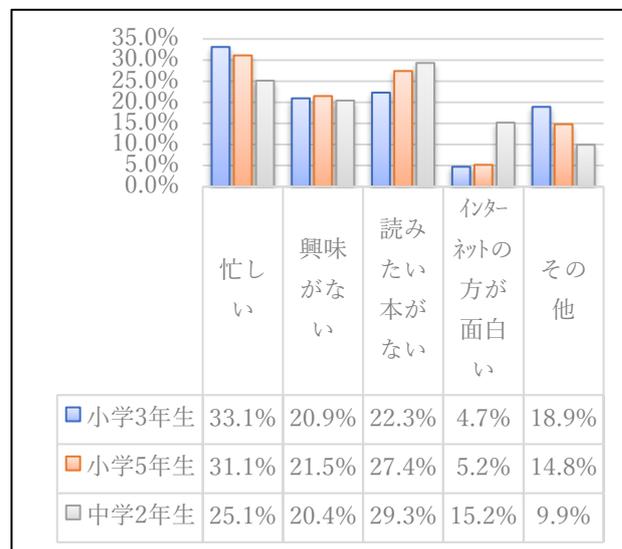
平成30年

✎ 「母」が半数以上を占めています。5年前と比較すると「父」は年少・年長いずれも3～4%増加していますが、②「家庭で読み聞かせをしない理由」に関連して、半数以上が読み手である母親の忙しさであることを踏まえると、読み聞かせ活動も子育ての大切な要素であり、共に子育てを担う視点からも、父親の参加度を高めていくための働きかけが必要です。

④ 図書を読まない理由（複数回答可）



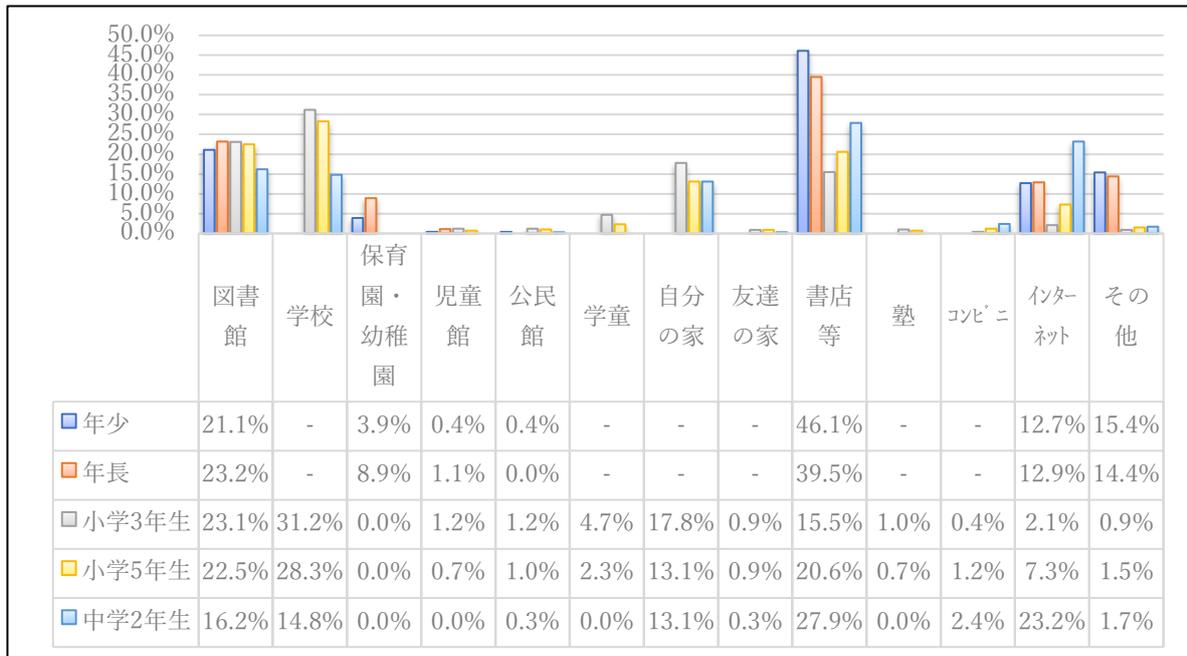
令和5年



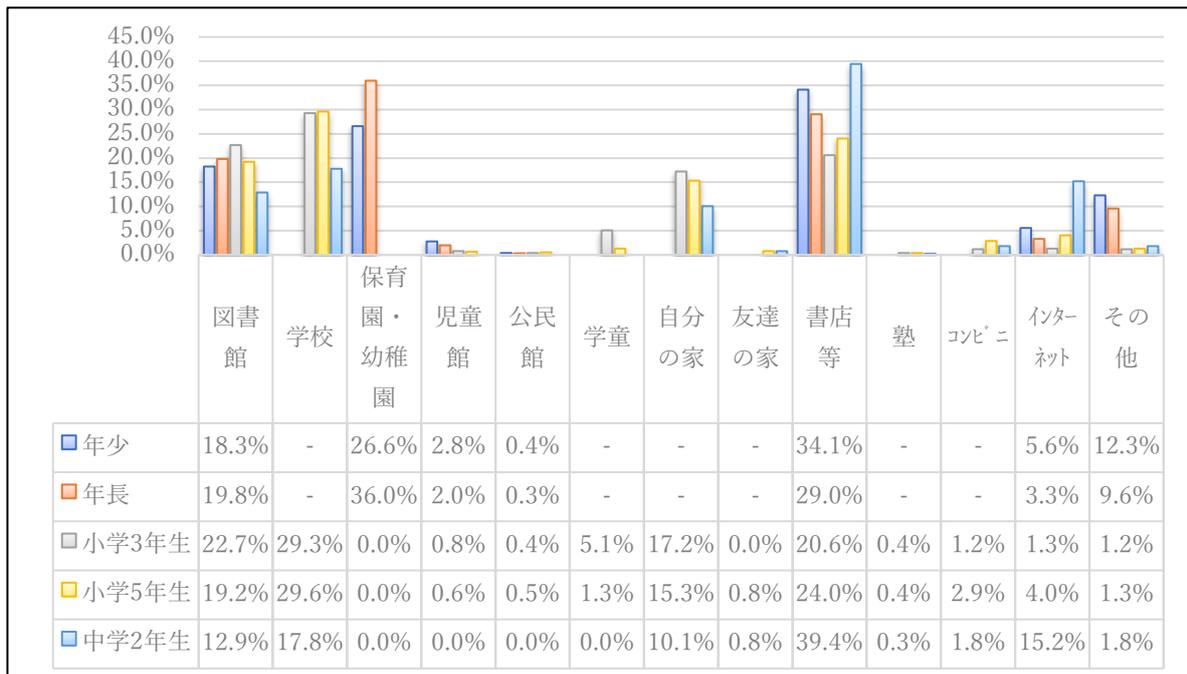
平成30年

✎ すべての年代において「忙しい」が24～32%を占め、読書への優先度が低めとなっている傾向が見られます。また、「読みたい本がない」についても同様に21～32%あり、各年代に向けて興味・関心を持ちやすい図書の展示やPRの工夫も必要です。

⑤ 図書の入手場所（3つまで）



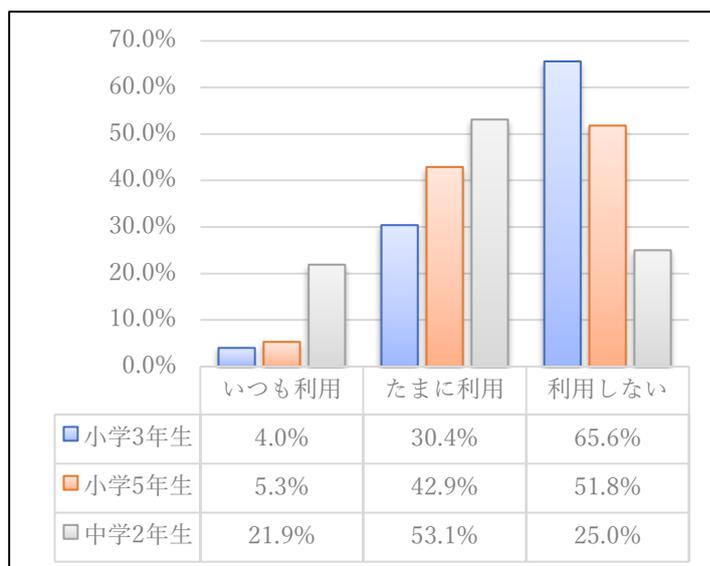
令和5年 ※項目「保育園・幼稚園」には認定こども園も含まれます



平成30年

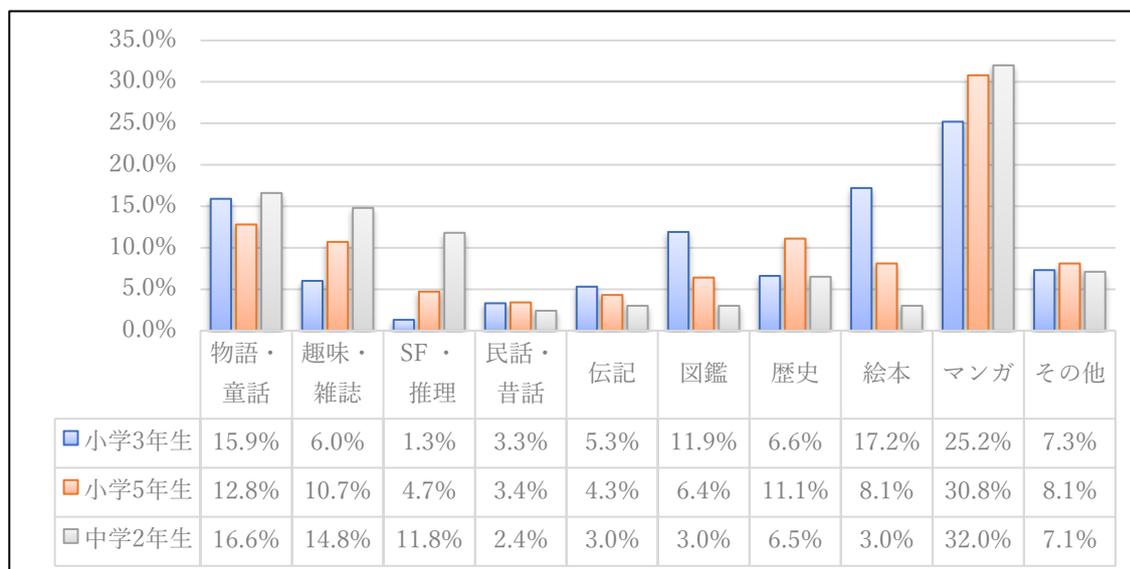
✎ 図書を入手する場所は小学生以上で「学校」、「書店」、「図書館」が多く、年少・年中でも「書店」が多い一方、「保育園・幼稚園」が減少しました（年少2.7%減、年長12.8%減）。保育園・幼稚園をはじめとした各施設での図書の貸出しを増やし、家庭での読み聞かせ支援をしていく必要があります。また、「図書館」の割合はいずれの年代もやや増加しました（平成30年比較で平均2.7%増）。また、5年前と比較すると、小学3年生を除き、「インターネット」からの入手が増えています（年少：7%増、年長10%増、小5：3%増、中2：8%増）。

⑥ スマートフォン・タブレットによる読書（令和5年より調査項目に追加）



✎ 学年があがるにつれて利用する頻度が増えています。特に中学2年生では、75%が「いつも利用」または「たまに利用」していることがわかります。

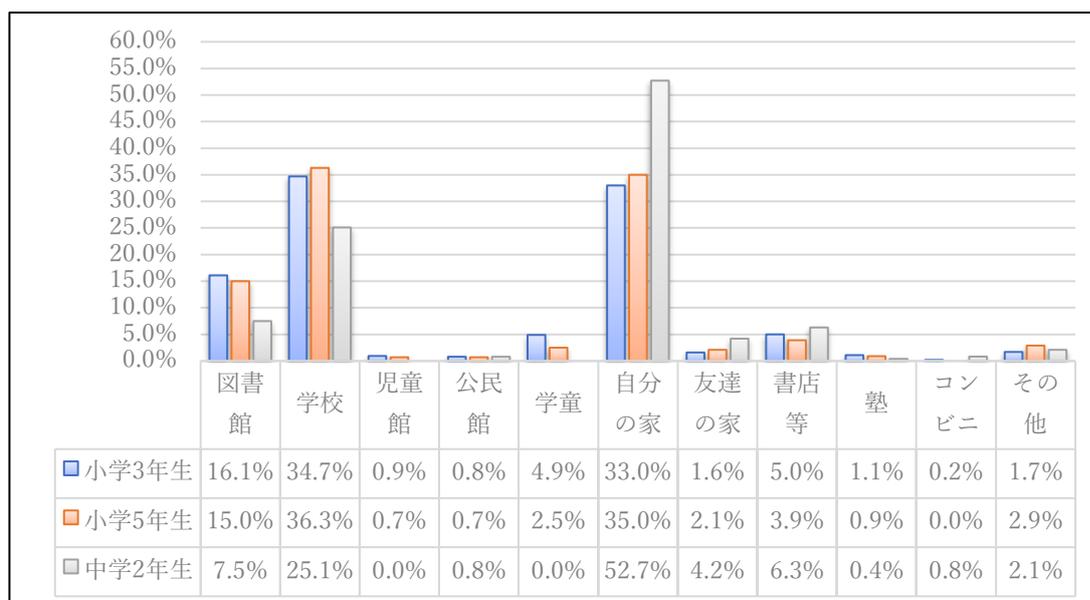
⑦ 電子書籍の種類（複数回答可・令和5年より調査項目に追加）



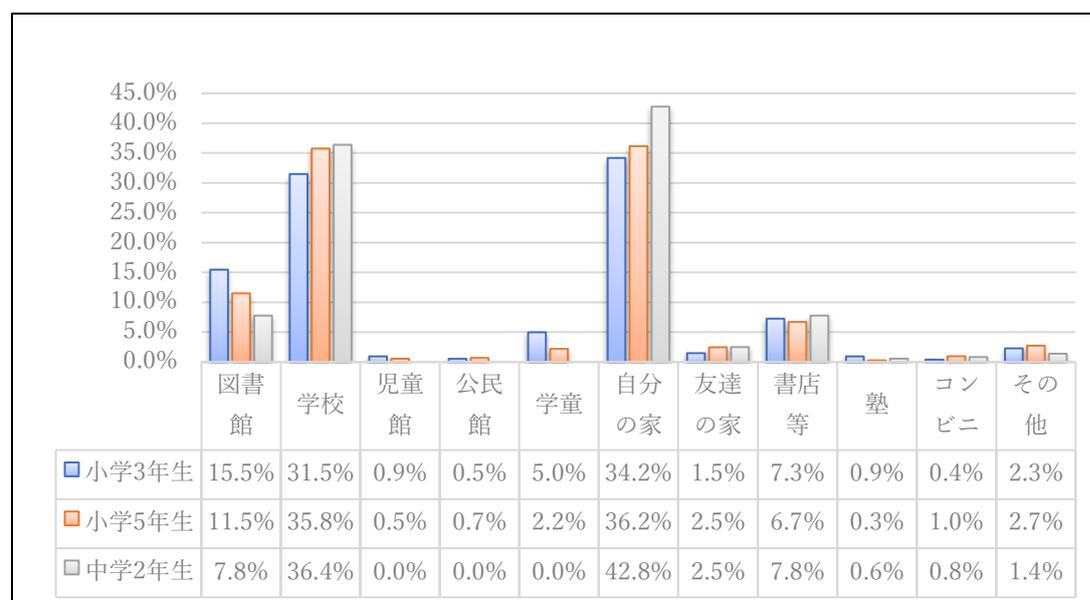
✎ 電子書籍を利用していると回答した子どものうち、「マンガ」を読むことが全年代で25%を超えています。特に、中学2年生については、趣味・雑誌、マンガの合計は46.8%であり読書に娯楽性や気軽さを求めていることがわかります。



⑧ 読書する場所（3つまで）



令和 5 年

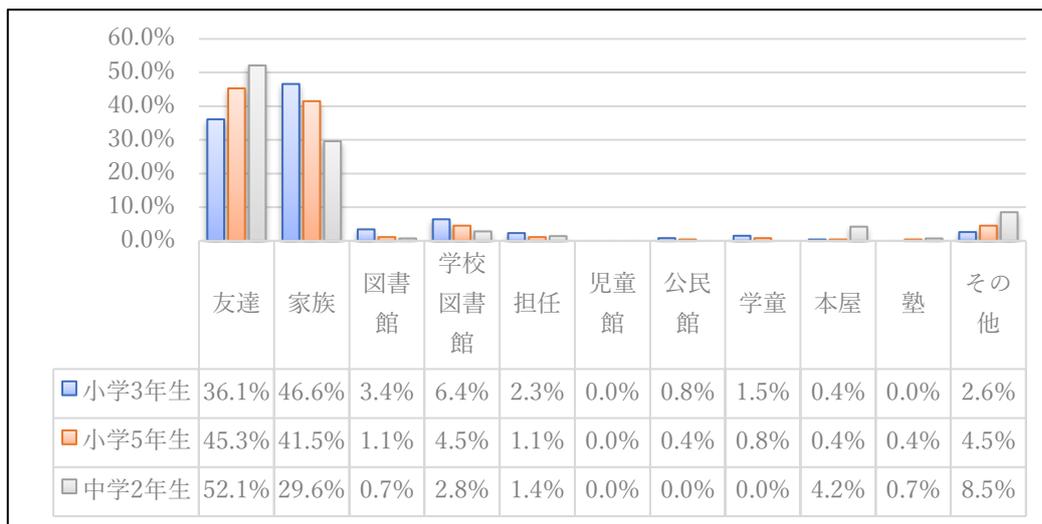


平成 30 年

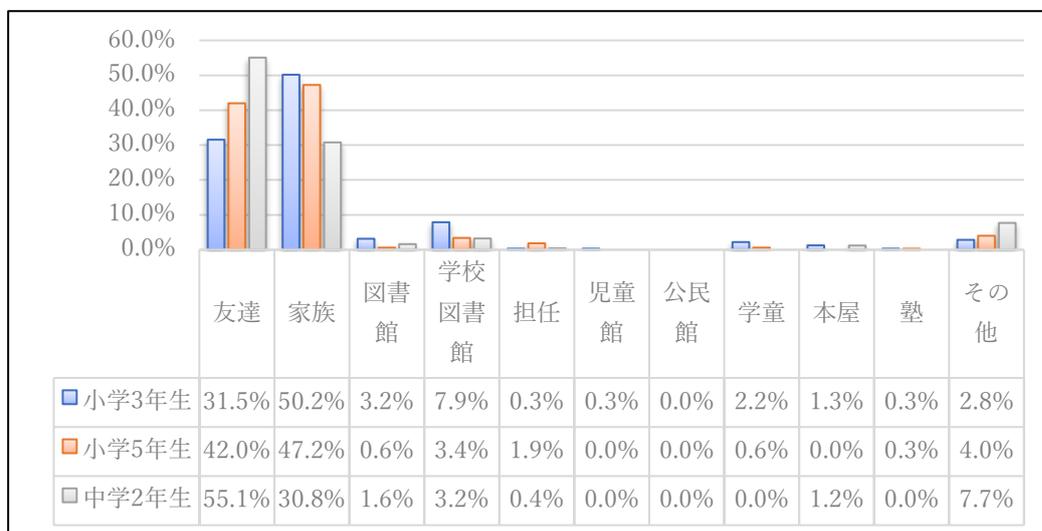
✍ 令和5年ではどの年代も「学校」と「自分の家」が約70～80%を占めています。5年前と比較すると、特に中学2年生では「学校」の比率が11.3%減少する一方、「自分の家」が9.9%増加しており、自宅での読書時間の増加が見られます。



⑨ 図書について話しやすい人



令和5年

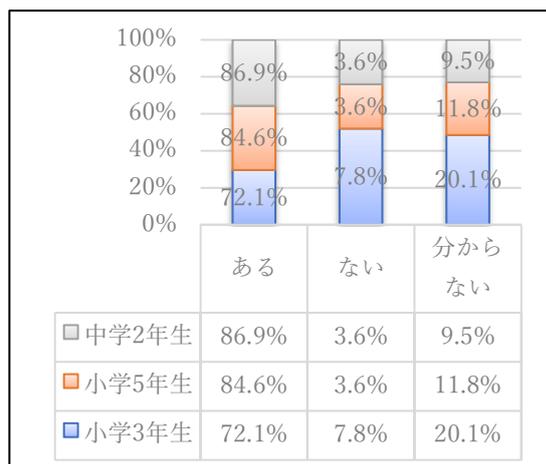


平成30年

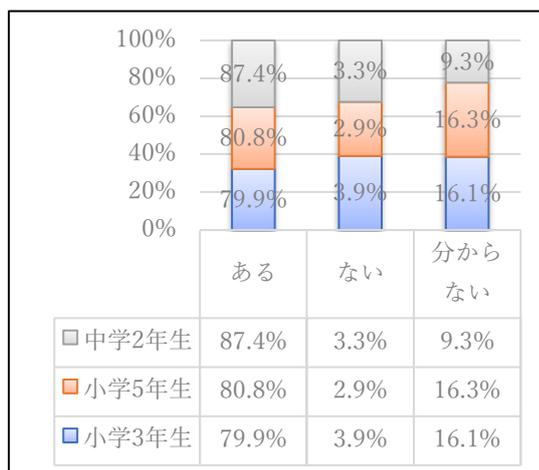
✎ 5年前と同様に、「家族」の比率が最も高いのは小学3年生であり、以降の年代では「友達」となっています。このことから、高学年以降は同年代の友人同士による、読書への関心を高める取り組みが有効であると考えられます。



⑩ 小さいときの読み聞かせの機会



令和5年

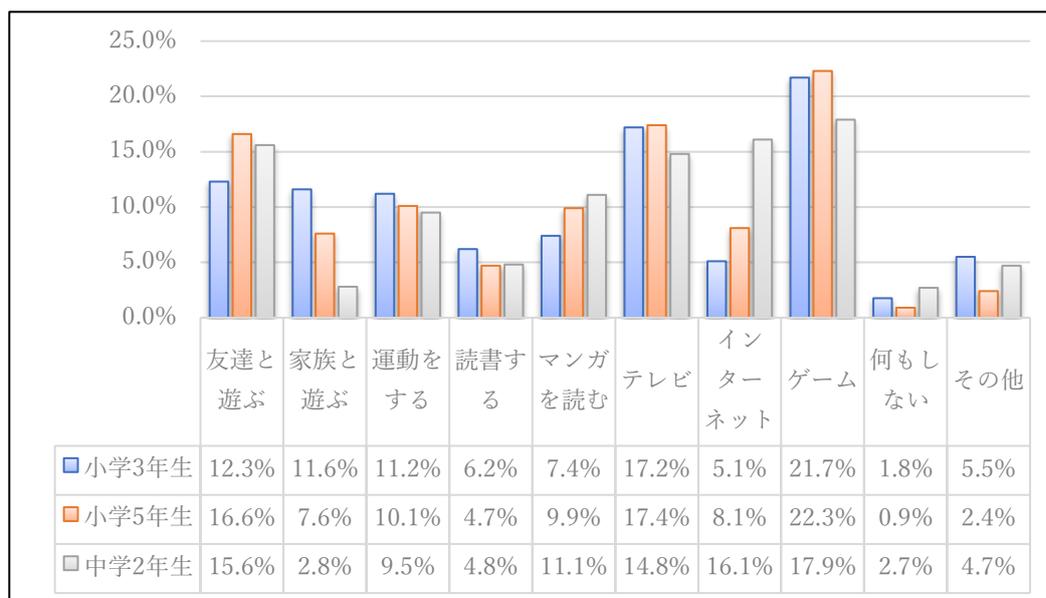


平成30年

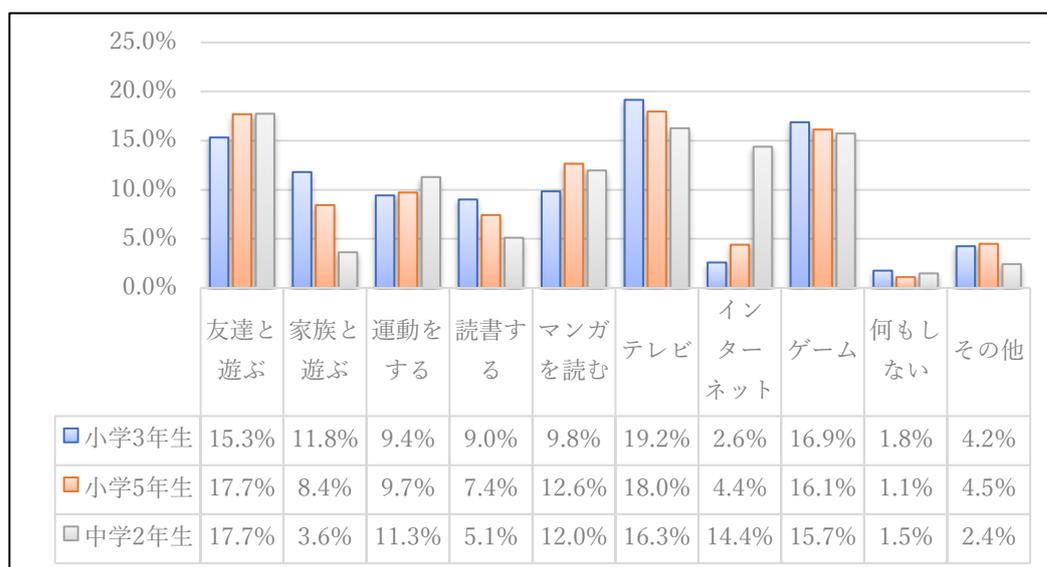
- ✎ すべての年代において約80%は幼少期の読み聞かせ経験があります。幼少期に読書に慣れ親しんでいたにもかかわらず、年代があがるにつれ読書習慣が維持されていないことがうかがえます。進級・進学等の適したタイミングで子どもの視点に立った働きかけが必要です。



⑩ 自由な時間の過ごし方（複数回答可）



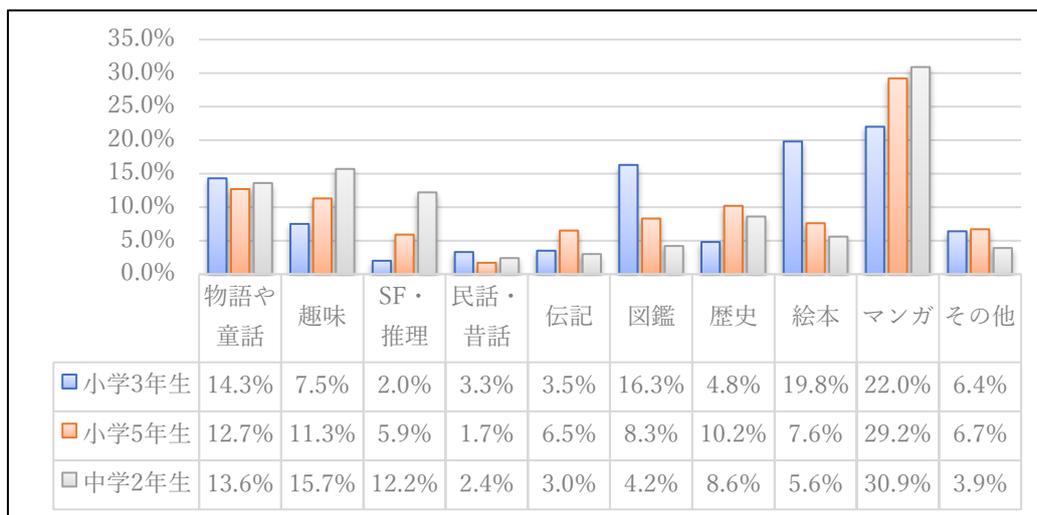
令和 5 年



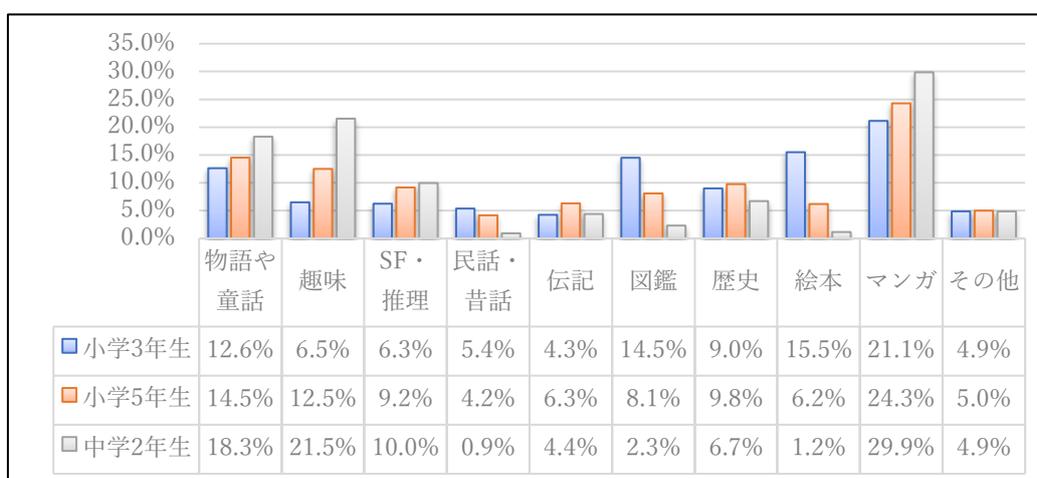
平成 30 年

✎ 自由な時間における読書の優先順位は低く、年代の上昇とともに読書を選択する子どもは減少傾向にある一方で、「インターネット」がどの年代もやや増加傾向にあります。また、「ゲーム」については全年代で5年前より増加し、特に、小学3年生（4.8%増）、小学5年生（6.2%増）が増加しています。

⑫ 好きな図書のジャンル（紙の本・複数回答可）

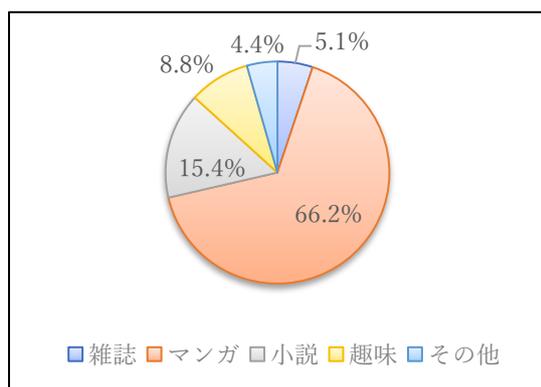


令和 5 年

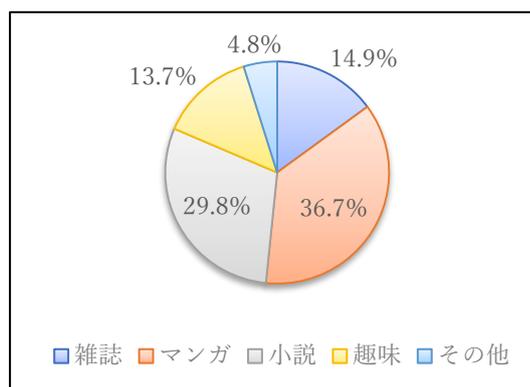


平成 30 年

※中学 2 年生が自分で購入する図書のジャンル（複数回答可）



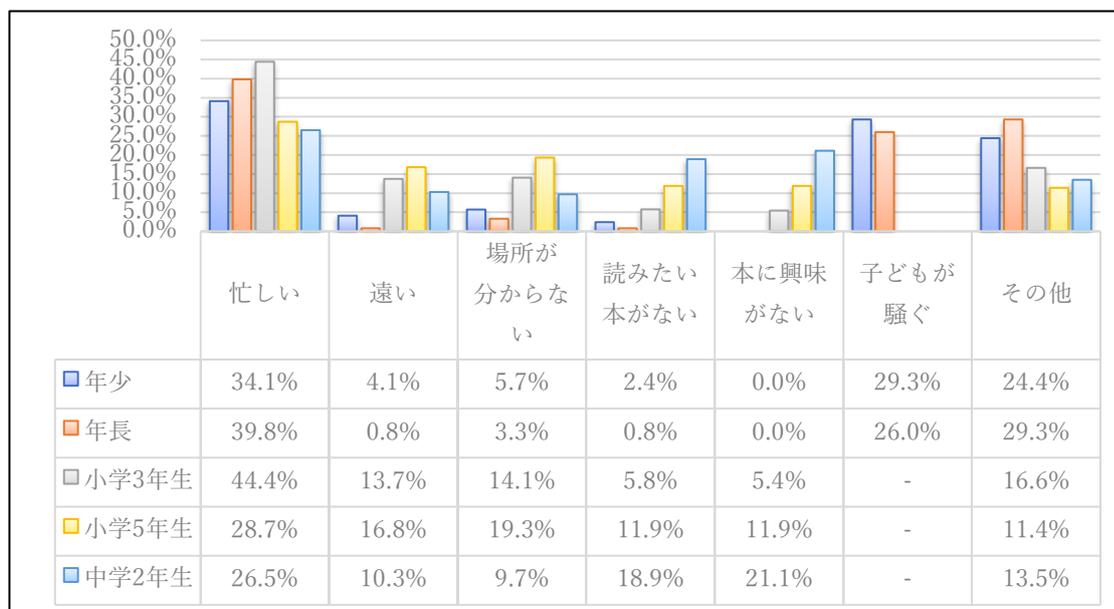
令和 5 年



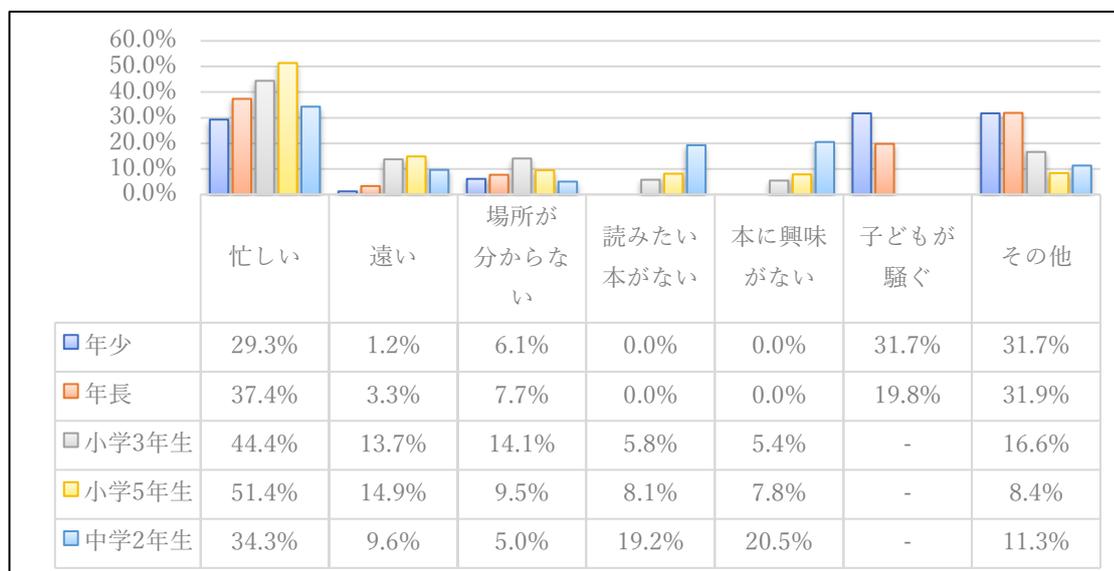
平成 30 年

✎ 「好きな図書のジャンル」では「マンガ」が最多を占めており、5年前より全年代においてやや上昇しています。「マンガ」に次いで、小学3年生では「絵本」、小学5年生では「物語や童話」、中学2年生では「趣味」が好きな図書のジャンルとして多く選ばれています。中学2年生が自分で購入する図書のジャンルについては、5年前と比較すると「小説」が14.4%減少し、「マンガ」が29.5%増加しています。

⑬ 市立図書館を利用しない理由（複数回答可）



令和 5 年



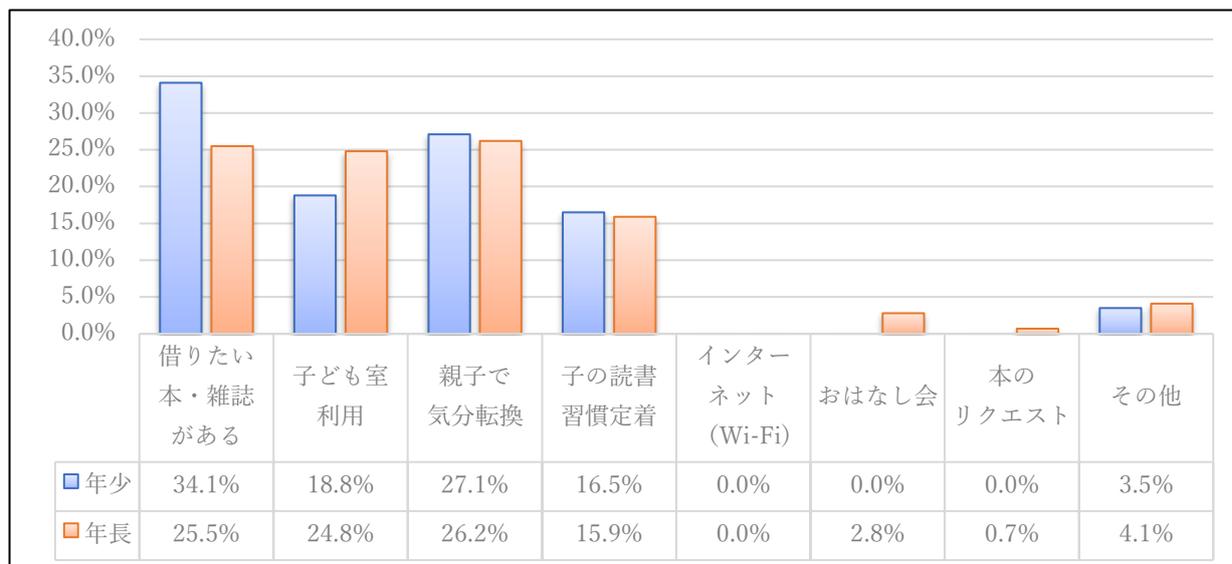
平成 30 年

✎ 各年代で「忙しい」が上位ですが、「⑩自由な時間の過ごし方」の結果によれば、時間があっても読書への優先度は低い傾向にあります。ほかに、年少・年長児での「子どもが騒ぐ」という保護者の心配については、子ども室があり気軽に利用できることを引き続き周知を図るとともに、より利用しやすい環境づくりを目指す必要があります。

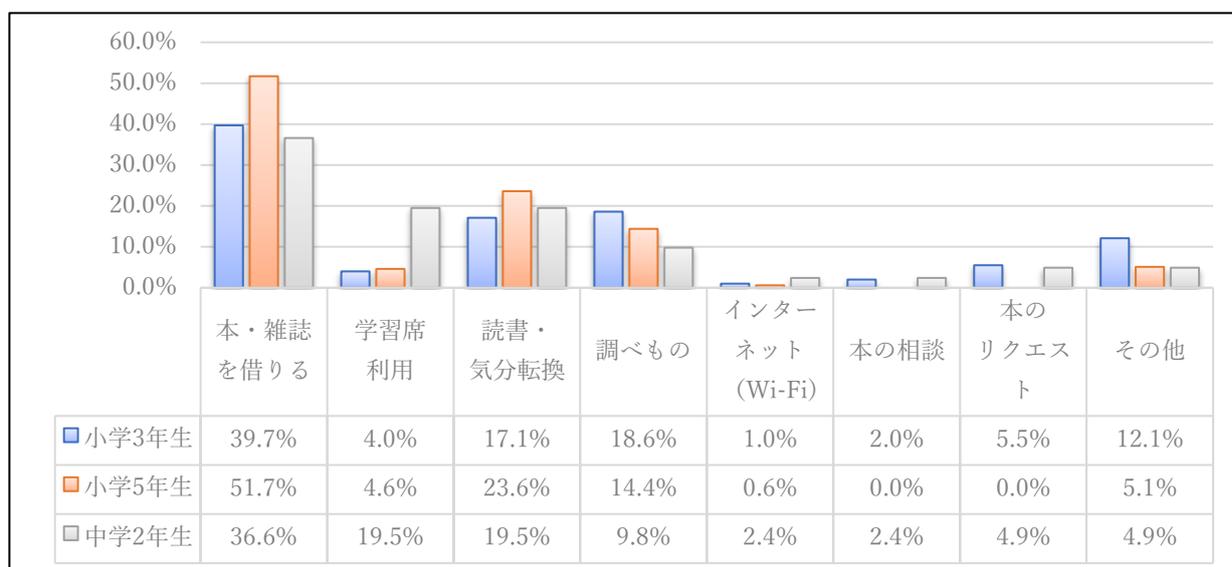
小学5年生においては、「場所が分からない」の比率が特に高く、5年前より10%程度増加しています。コロナ禍による外出の機会の減少等により、親子で市立図書館を訪れる経験がないことも推測されます。

また、小学5年生の「読みたい本がない」について、5年前と比較すると他学年と比べて4%弱増加していることも踏まえると、小学5年生頃が読書習慣継続のための特に大切な時期であると考えられます。

⑭ 図書館を利用する理由 (令和5年より調査項目に追加)



年少・年長



小学生・中学生

最も多い「本を借りる」に次ぐ目的としては、「読書や気分転換」がいずれの年代も比率が高く、図書の充実のほか、リラックスして過ごせる空間としての機能が求められています。その他については、「インターネットの利用」や「本のリクエスト^[注9]」等の数値が低い理由として、利用できるサービスが知られていないことが推察されるため、市立図書館ホームページの案内を含め、保護者や子どもたちに情報発信をしていく必要があります。

第4章 施策目的

1 発達段階に応じた施策

(1) 乳幼児期

絵本や物語の読み聞かせにより、読書への興味を持ってもらいます。第三次計画を継承しますが、事業効果を高めるために、適時、検討及び見直しを図ります。

(2) 小学生期

多くの図書に触れ、感性を磨くことのできる読書を推奨し、読書習慣の土壌づくりを目指します。

(3) 中学生期以降

自己の将来を考えるきっかけとなるように、共感性が高まる図書を推薦します。知的興味を伸ばし、幅広い知識を成長に応じて習得できるように、子どもの成長に合わせた支援をします。

2 家庭における施策

家庭においては、保護者が子どもに読書の楽しさや重要性を伝える役割を担います。そのために、市立図書館を中心とした様々な機関によって「ブックスタート」や「家読(うちどく)」等の活動を推進し、家庭に読書習慣を取り入れる機会をつくっていきます。

また、親子が気軽に訪れ読書を楽しめるように、市立図書館をはじめとした施設において、読書環境の充実を図っていきます。保護者は、そうして得られた経験に基づき、家庭に読書習慣を取り入れます。

3 地域における施策

(1) 公民館

読書活動を推進する身近な施設として、児童又は青少年用図書等の整備に努めるほか、読書活動に関して専門的知識を持つ人や地域のボランティア等の多様な人々と連携して、子どもの読書活動を推進する取り組みを実施します。また、子どもが興味を持てる図書を選びすぐり、市立図書館と連携しながら、適時貸出しができるようにします。

- ① 貸出文庫の利用促進及び運用方法の見直し
- ② 公民館資料の整備と充実
- ③ 市立図書館資料^[注10]及びサービスの利活用（購入図書のリクエスト含む）
- ④ 図書に関する利用者への情報提供及び関係施設・団体等との共有化
- ⑤ 地域人材等との連携による読書活動推進事業の開催

（２）児童館

市立図書館の諸活動と同様に、子どもが読書に親しむ契機となる施設として、児童書や青少年用図書等を活用した様々な取り組みを実施します。

- ① 貸出文庫の利用促進及び運用方法の見直し
- ② 児童館資料の整備と充実
- ③ 市立図書館資料及びサービスの利活用（購入図書のリクエスト含む）
- ④ 読書活動に関する関係施設・団体等への情報提供及び共有化
- ⑤ 図書に関する様々な事業の開催

（３）地域子育て支援センター

読書活動に関して専門的知識を持つ人や、地域のボランティア等と連携して、子どもが読書に親しむ取り組みを実施します。

- ① 貸出文庫の利用促進及び運用方法の見直し
- ② 地域子育て支援センター資料の整備と充実
- ③ 市立図書館資料及びサービスの利活用（購入図書のリクエスト含む）
- ④ 読書活動に関する関係施設・団体等への情報提供及び共有化
- ⑤ 図書に関する様々な事業の開催

４ 市立図書館における施策

子どもの読書活動を推進する中心的役割として、様々な施策を実施します。

- ① 各施設及び関係機関等との関係の適正化及び役割の見直し
- ② 貸出文庫の利用促進及び運用方法の見直し
- ③ 市立図書館資料の整備と充実
- ④ 市立図書館資料及びサービスの提供

- ⑤ 読書活動に関する各施設・団体等への情報提供及び共有化
- ⑥ 子どもや保護者を対象とする読書活動推進事業の企画及び運営
- ⑦ 読書活動に関する人材の育成・支援
- ⑧ 運営状況に関する評価等の実施
- ⑨ 多様な子どもたちに向けたサービスの提供
- ⑩ リクエスト資料の貸借
- ⑪ 子どもが利用しやすい空間の構築
- ⑫ ICT の推進
- ⑬ 環境に配慮した資料の有効利用

5 学校等における施策

(1) 保育園・幼稚園・認定こども園・放課後児童クラブ

乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるように、子どもが絵本や物語に親しみ取り組みを積極的に実施します。また、市立図書館と連携して、発達の段階に応じた図書の選定を行います。

- ① 貸出文庫の利用促進及び運用方法の見直し
- ② 保育園・幼稚園・認定こども園・放課後児童クラブ資料の整備と充実
- ③ 市立図書館資料及びサービスの利活用（市立図書館見学を含む）
- ④ 読書活動に関する情報の提供及び共有化
- ⑤ 保護者に対する読書活動の啓発
- ⑥ 読み聞かせの実施

(2) 小学校

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していくための取り組みを実施します。多くの図書に触れ、感性を磨くことができるように、児童の自主的、自発的な読書活動を充実させるための適切な支援を行うとともに、その環境を整備します。

- ① 学校図書館資料の整備と充実
- ② 市立図書館資料及びサービスの利活用（市立図書館見学を含む）
- ③ 読書活動に関する情報の提供及び共有化
- ④ 子どもや保護者を対象とする読書活動推進事業の企画及び運営
- ⑤ 学校長・学校司書・教職員との連携強化による図書室の運営
- ⑥ 指導計画に基づく授業での学校図書館利用や読書指導

(3) 中学校等

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を成熟化していくための取り組みを実施します。生徒が幅広く読書できるようにするだけでなく、読書の質を高めていくための適切な支援を行うとともに、その環境を整備します。

- ① 学校図書館資料の整備と充実
- ② 市立図書館資料及びサービスの利活用
- ③ 読書活動に関する情報の提供及び共有化
- ④ 子どもや保護者を対象とする読書活動推進事業の企画及び運営
- ⑤ 学校長・学校司書・教職員との連携強化による図書室の運営
- ⑥ 指導計画に基づく授業での学校図書館利用や読書指導

6 読書への関心を高めるための施策

成長に連れて読書活動以外の関心が高くなる一方で、相対的に読書への関心が低くなっていくことから、引き続き年代に応じた読書への関心を高める取り組みを、市立図書館が中心となって実施します。

そのために、読書を始めるきっかけづくりとしての学習マンガや、青年期から大人へと成長しても高い関心を保つことができる文学作品等を、市立図書館の目立つ場所に配架していきます。幼少期からそうした本に触れる機会を増やし、継続性のある読書活動へ結びつけていきます。併せて、気軽に親子で市立図書館を訪れ、子どもと共に読書を楽しんでもらえるよう、保護者への働きかけを行います。

小学5年生以降の子どもには、手に取りやすい図書の企画を実施します。気軽に読める娯楽性の高い図書や映画の原作といった、読書に取り掛かりやすい図書を推奨することで、読書への関心を高めてもらいます。そのために、映画やアニメ等の原作やノベライズ^[注11]を中心とした企画を実施していきます。

また、そこで得られた関心を発展させていくために、友人同士で図書をすすめ合う等、同世代間におけるコミュニケーションツールとなる施策を実施して、子どもの読書への関心を更に高めていきます。

こうした取り組みを通じて、子どもが心に残る一冊と出会うことや、図書への理解の深化を目標とします。



7 関係機関等の活動に対する支援

読書週間等のキャンペーンや読書感想文コンクールのほか、市で主催する事業に関連した図書の企画展示等を実施します。また、館林市立資料館や田山花袋記念文学館と連携して、日本遺産「里沼」や郷土の文豪田山花袋への関心を高め、郷土への愛着を深めることができるように支援します。

また、民間団体やボランティア団体が行う活動の支援策として、人材育成を目的とする研修等を開催します。



8 普及啓発活動

子ども読書の日を中心とした普及啓発活動を継続して実施します。市立図書館を主体に、子どもの読書活動の実態や地域内の学校や団体等が取り組んでいる先進事例を収集、分析のうえ、関係機関等に適時、提供していきます。また、優れた読書活動への取り組みを奨励するとともに、優良図書の普及に努める事業を支援します。

各施設及び関係機関等では連携を強化し、協働でポスター等を用いた子どもの読書活動の普及啓発に努めます。



第5章 具体的な取り組み

I 発達段階に応じた効果的かつ切れ目のない支援の促進

(1) 乳幼児期

- ① 読み聞かせ活動の支援
- ② 貸出文庫（保育園・幼稚園・認定こども園）
- ③ 保育園・幼稚園・認定こども園との連携による市立図書館見学
- ④ ブックスタート（4か月児）やフォローアップ活動（1歳6か月児）、ステップアップ活動（2、3歳児）

(2) 小学生期

- ① 夏休み行事等、各種イベントの開催
- ② 学校との連携による市立図書館見学
- ③ 放課後児童クラブやボランティアとの連携
- ④ 読書感想文コンクール等、民間団体の活動に対する支援
- ⑤ 学校図書館の支援と連携

(3) 中学生期以降

- ① ヤングアダルトコーナーの充実
- ② 将来を考えるための図書の充実
- ③ 進学、就職及び資格取得等に関する図書の充実
- ④ 学校との連携による職業体験
- ⑤ 読書感想文コンクール等、民間団体の活動に対する支援
- ⑥ 学校図書館の支援と連携
- ⑦ 高校と連携した企画の実施

2 子どもが主体の読書への関心を高める取り組み

(1) 保護者に対する読書活動の啓発及び支援

(2) 市立図書館における子ども司書体験等

(3) 学校図書委員（児童生徒）を中心とした読書活動のための支援及び啓発

(4) 各施設及び関係機関等が主催する読書会の支援、情報提供

(5) ブックトーク及びビブリオバトルの啓発及び支援

(6) その他効果的な読書活動の啓発及び支援

3 子どもの読書環境に役立つ情報通信技術を採用した取り組み

(1) スマートフォンやタブレットを利用した読書活動の啓発

(2) ホームページや SNS 等を利用した市立図書館の事業の広報

(3) 一人一台端末を使用した学校等における実態調査

(4) その他 ICT の発展に応じた情報の収集及び利活用

4 多様な子どもたちの読書機会の確保

(1) 特別な支援を必要とする子どもへの対応と利用しやすい図書の充実

(2) 日本語指導を必要とする子どもへのやさしい日本語や多言語対応等を含む環境整備

(3) 放課後デイサービス等の団体への支援

5 子どもの要望・視点を取り入れた資料・環境整備

(1) 学校等における子どもアンケート調査等の実施

(2) 子どもの要望・視点を取り入れた事業の開催や読書環境の整備

(3) 計画の進行管理



第6章 計画の進行管理

1 進行管理の体制

計画の推進にあたり、指標を設定し、子どもの読書活動の推進を図ります。
また、毎年度、関係機関に調査を行い、取り組みの推進状況を確認し、計画の進行管理を行います。指標の達成状況や取り組みの推進状況等を館林市図書館協議会にて報告し、確認・評価を受けていくものとしします。

◆指標 1

学校図書館（小学校）における児童一人あたりの平均利用冊数

R4 年度 (実績値)	➡	R10 年度 (目標値)
103.5 冊		110 冊

◆指標 2

学校図書館（中学校）における生徒一人あたりの平均利用冊数

R4 年度 (実績値)	➡	R10 年度 (目標値)
10.3 冊		15 冊

◆指標 3

市立図書館における対象年齢の子どもの総貸出冊数（CD、DVD 等を除く）

R4 年度 (実績値)	➡	R10 年度 (目標値)
36,967 冊		37,160 冊

◆指標 4

市立図書館における児童書の総貸出冊数

R4 年度 (実績値)	➡	R10 年度 (目標値)
75,863 冊		76,260 冊

2 計画の見直し

子どもを取り巻く状況の変化や進行状況などにより必要に応じて見直しを図ります。

注釈

1 貸出文庫

平成18年度に廃止された移動図書館に代わって、市立図書館資料を各施設の図書コーナーへ配架する事業です。資料は定期的に入れ替えています。

2 ヤングアダルト（YA）

子どもと大人の間世代として、主に中高校生年代を指します。10代をイメージしていますが、実態は広範な年代になっています。

3 メディア化コーナー

映画化やアニメ・ドラマ化された話題の原作本を集めて展示・貸出しするコーナーのことをいいます。

4 調べ学習

子ども自らが、課題を見つけ解決方法を探り、そのための資料を求め、最終的に解決方法をまとめる等、自主的に課題解決を図る学習のことです。

5 ブックトーク

司書等が、一定のテーマに沿った複数の本の内容を、一定時間内に聞き手に紹介する活動です。本の面白さや、読書意欲を起こさせることを目的とします。

6 ビブリオバトル

知的書評合戦ともいいます。発表者は、自分の推薦する本について書評をして、聞き手は、発表の中から一番読みたくなった本を決めるゲームです。ブックトーク同様に、本の面白さや、読書意欲を起こさせることを目的とします。また、自分の好きな本を選び語り合うことから、コミュニケーションの場をつくる効果もあります。

7 LLブック

誰もが読書を楽しめるように工夫してつくられた「やさしく、読みやすい本」のことで、写真や絵記号、ふりがな等を入れており、日本語が得意ではないかたや、知的障害のあるかたをはじめ様々なかたにとっても読みやすくつくられています。

8 読書バリアフリー法

誰もが読書のできる社会の実現に向けて、様々な形式で本を提供することを推進するための法律（視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する法律：令和元年6月28日施行）

9 リクエスト

自館で所蔵していない資料の利用を求められたときに、その資料を購入するか、他館から借り受けることによって、利用者の要望に応えることです。

10 市立図書館資料

市立図書館に備えつけてある一般書、児童書、郷土資料、YA、視聴覚資料、マイクロフィルム、雑誌、新聞、その他の総称を指します。

11 ノベライズ

映画やアニメ等、小説以外で発表された作品が、小説化されることをいいます。

資料

- 1 施設動向調査集計結果（平成29年度比較）
- 2 意識調査集計結果（年代別）
- 3 学校図書館貸出冊数推移
- 4 館林市立図書館年代別分類別貸出冊数推移
- 5 策定までの経緯
- 6 館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議設置要綱（平成30年7月1日館林市教委告示第14号）
- 7 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）

資料1 施設動向調査集計結果（平成29年度比較）

1 実施期間

令和5年4月25日～5月19日

2 対象

市内公立の下記施設小学校（11校）、中学校（5校）、保育園（9園）、幼稚園（5園）、公民館（11館）、児童館（3館）、地域子育て支援センター（5施設）の図書担当 ※令和5年3月31日現在

3 アンケート結果

（1）家庭における読書活動の啓発

施設名	令和4年度			平成29年度			している 増減比
	している	していない	している 割合	している	していない	している 割合	
小学校	9	2	81.8%	11	0	100.0%	△18.2%
中学校	4	1	80.0%	2	3	40.0%	40.0%
保育園	9	0	100.0%	9	0	100.0%	0.0%
幼稚園	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%
公民館	2	9	18.2%	4	7	36.4%	△18.2%
児童館	1	2	33.3%	3	0	100.0%	△66.7%
支援センター	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%

（2）読み聞かせの実施

施設名	令和4年度					平成29年度					している 増減比	平均回数 増減
	している	回数計	平均回数	していない	している 割合	している	回数計	平均回数	していない	している 割合		
小学校	11	141	12.8	0	100.0%	11	241	21.9	0	100.0%	0.0%	△9.1
中学校	0	0	0.0	5	0.0%	0	0	0.0	5	0.0%	0.0%	0
保育園	9	32,400	3,600.0	0	100.0%	9	2,223	247.0	0	100.0%	0.0%	3353
幼稚園	5	2,640	528.0	0	100.0%	5	1,235	247.0	0	100.0%	0.0%	281
公民館	1	1	1.0	10	9.1%	0	0	0.0	11	0.0%	9%	1
児童館	3	47	15.7	0	100.0%	3	122	40.7	0	100.0%	0.0%	△25
支援センター	5	790	158.0	0	100.0%	5	1,088	217.6	0	100.0%	0.0%	△59.6

※保育園では令和4年度に毎日3回読み聞かせを実施（平日240日）

※読み聞かせ回数が毎日の場合は、平成29年度は平日247日として算定しています。

※平成29年度の読み聞かせ回数において範囲のみ判明している場合は、中央値を採用しています。

(3) 朝の読書活動等、読書活動を推進する活動

施設名	令和4年度						平成29年度						している 増減比
	している	平成29年度比			していない	している 割合	している	平成24年度比			していない	している 割合	
		増えた	同じ	減った				増えた	同じ	減った			
小学校	10	3	4	2	1	90.9%	11	5	6	0	0	100.0%	△ 9.1%
中学校	5	1	3	1	0	100.0%	5	1	3	1	0	100.0%	0.0%

(4) 学校図書館における図書の整備状況

施設名	令和4年度					平成29年度					受入冊数 増減比	現有冊数 増減比	電算化 増減比
	受入冊数計	現有冊数	資料の電算化			受入冊数計	現有冊数	資料の電算化					
			している	していない	割合			している	していない	割合			
小学校	3,636	130,772	11	0	100.0%	4,614	129,111	11	0	100.0%	△ 21.2%	1.3%	0.0%
中学校	2,707	75,592	5	0	100.0%	2,756	71,478	5	0	100.0%	△ 1.8%	5.8%	0.0%

(5) 学校図書館における新聞の配備状況

施設名	令和4年度					
	1紙	2紙	3紙	5紙	8紙	合計
小学校	4	3	2	1	1	100%
中学校	0	4	1	0	0	100%

※令和4年度分より調査項目に追加しています。

(6) 多様な読書機会の提供

施設名	令和4年度		
	している	していない	割合
小学校	8	3	73%
中学校	5	0	100%

※令和4年度分より調査項目に追加しています。

(7) 学校図書館関係者の連携及び協力体制

施設名	令和4年度					平成29年度					とれている 増減比
	連携				とれている 割合	連携				とれている 割合	
	とれている	ややとれている	ややとれていない	とれていない		とれている	ややとれている	ややとれていない	とれていない		
小学校	9	2	0	0	100.0%	9	2	0	0	100.0%	0.0%
中学校	4	1	0	0	100.0%	3	1	1	0	80.0%	20.0%

※「とれている割合」は、「とれている」と「ややとれている」の合計です。

(8) 図書の貸出状況

施設名	令和4年度					平成29年度					している 増減比	平均冊数 増減
	している	冊数	平均冊数	していない	している 割合	している	冊数	平均冊数	していない	している 割合		
小学校	11	360,792	103.5	0	100.0%	11	421,249	108.0	0	100.0%	0.0%	△ 4.5
中学校	5	19,204	10.3	0	100.0%	5	26,429	12.6	0	100.0%	0.0%	△ 2.3
公民館	11	2,251	204.6	0	100.0%	11	992	90.2	0	100.0%	0.0%	114.5
児童館	3	98	32.7	0	100.0%	3	392	130.7	0	100.0%	0.0%	△ 98.0

※図書充実状況調査(教育総務課調)に基づき11件としています。

※「している」内の平均は、小学校、中学校においては1人当たりの平均とし、その他は冊数/施設数としています。

※児童センターの「している」は、新型コロナウイルス感染症が県警戒度レベル1以下の時に限ります。

(9) 地域人材の活用状況

施設名	令和4年度			平成29年度			している 増減比
	している	していない	している 割合	している	していない	している 割合	
小学校	11	0	100.0%	11	0	100.0%	0.0%
中学校	0	5	0.0%	0	5	0.0%	0.0%
保育園	1	8	11.1%	2	7	22.2%	△ 11.1%
幼稚園	1	4	20.0%	5	0	100.0%	△ 80.0%
公民館	2	9	18.2%	-	-	-	-
児童館	1	2	33.3%	-	-	-	-
支援センター	1	4	20.0%	5	0	100.0%	△ 80.0%

※令和4年度分から公民館・児童館を調査施設に追加しています。

(10) その他読書活動に関する情報発信や啓発活動

施設名	令和4年度			平成29年度			している 増減比
	している	していない	している 割合	している	していない	している 割合	
小学校	9	2	81.8%	8	3	72.7%	9.1%
中学校	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%
保育園	8	1	88.9%	9	0	100.0%	△ 11.1%
幼稚園	5	0	100.0%	5	0	100.0%	0.0%
公民館	2	9	18.2%	7	4	63.6%	△ 45.5%
児童館	3	0	100.0%	2	1	66.7%	33.3%
支援センター	3	2	60.0%	4	1	80.0%	△ 20.0%

資料2 意識調査集計結果（年代別）

1 実施期間

令和5年5月10日～6月23日

2 対象者

市内公立の保育園・幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の中の任意1クラス

※保育園・幼稚園・認定こども園については、保護者を実施対象としています。

3 対象区分

	配布数	回答数
保育園・幼稚園・認定こども園年少13クラス	173	156 (90.2%)
保育園・幼稚園・認定こども園年長13クラス	205	184 (89.8%)
小学校3年生12クラス	312	287 (92.0%)
小学校5年生12クラス	301	283 (94.0%)
中学校2年生5クラス	137	137 (100%)
全体	1,128	1,047 (92.8%)

※区分ごとの配布数の一部が不明であるときは、案分により算出しています。

※小学校1校において小学3年生及び5年生いずれも2クラス分の提出がありました。

4 アンケート結果

(1) 読書に対する好感度

年代	好き	普通	嫌い(興味がない)	計
年少	70	81	5	156
	44.9%	51.9%	3.2%	100.0%
年長	78	94	12	184
	42.4%	51.1%	6.5%	100.0%
小学3年生	170	100	13	283
	60.1%	35.3%	4.6%	100.0%
小学5年生	149	123	10	282
	52.8%	43.6%	3.5%	100.0%
中学2年生	53	75	9	137
	38.7%	54.7%	6.6%	100.0%

(2) 読み聞かせに対する好感度

年代	好き	普通	嫌い	計
小学3年生	145	115	27	287
	50.5%	40.1%	9.4%	100.0%
小学5年生	87	165	29	281
	31.0%	58.7%	10.3%	100.0%
中学2年生	29	52	55	136
	21.3%	38.2%	40.4%	100%

(3) 家庭での読み聞かせの機会

年代	頻繁	時々	なし	なしの理由(複数回答可)						計
				忙しい	どんな本がいいかわからない	圖で読んでもらっているため不要	子どもが聞かない	その他	小計	
年少	28	103	24	15	1	8	6	3	33	155
	18.1%	66.5%	15.5%	45.5%	3.0%	24.2%	18.2%	9.1%	100.0%	100.0%
年長	29	104	51	32	3	10	12	14	71	184
	15.8%	56.5%	27.7%	45.1%	4.2%	14.1%	16.9%	19.7%	100.0%	100.0%

(4) 家庭で読み聞かせをする人(複数回答可)

年代	父	母	祖父母	兄・姉	その他	計
年少	61	142	18	20	1	242
	25.2%	58.7%	7.4%	8.3%	0.4%	100.0%
年長	62	165	23	23	4	277
	22.4%	59.6%	8.3%	8.3%	1.4%	100.0%

(5) 読み聞かせする冊数

年代	1回の冊数					1か月の冊数				
	5冊以上	3~4冊	1~2冊	0冊	計	10冊以上	6~9冊	1~5冊	0冊	計
年少	3	22	124	6	155	35	34	82	3	154
	1.9%	14.2%	80.0%	3.9%	100.0%	22.7%	22.1%	53.2%	1.9%	100.0%
年長	3	19	145	13	180	46	33	92	9	180
	1.7%	10.6%	80.6%	7.2%	100.0%	25.6%	18.3%	51.1%	5.0%	100.0%

(6) 読書冊数

年代	1か月の冊数					スマホ・タブレットによる読書				本をあまり読まない理由(左記5冊以下、複数回答可)					
	10冊以上	6~9冊	1~5冊	0冊	計	いつも利用	たまに利用	利用しない	計	忙しい	興味がない	読みたい本がない	インターネットの方が面白い	その他	計
小学3年生	126	54	65	38	283	10	77	166	253	30	20	20	9	14	93
	44.5%	19.1%	23.0%	13.4%	100%	4.0%	30.4%	65.6%	100.0%	32.3%	21.5%	21.5%	9.7%	15.1%	100.0%
小学5年生	71	72	99	39	281	13	105	127	245	41	36	56	14	23	170
	25.3%	25.6%	35.2%	13.9%	100.0%	5.3%	42.9%	51.8%	100.0%	24.1%	21.2%	32.9%	8.2%	13.5%	100.0%
中学2年生	19	18	60	40	137	21	51	24	96	48	35	55	39	13	190
	13.9%	13.1%	43.8%	29.2%	100.0%	21.9%	53.1%	25.0%	100.0%	25.3%	18.4%	28.9%	20.5%	6.8%	100.0%

(7) 電子書籍の割合と種類

年代	電子書籍利用の割合					電子書籍の種類										
	ほとんど	半分	少し	ほとんどない	計	物語・童話	趣味・雑誌	SF・推理	民話・昔話	伝記	図鑑	歴史	絵本	マンガ	その他	計
小学3年生	14	25	51	132	222	24	9	2	5	8	18	10	26	38	11	151
	6.3%	11.3%	23.0%	59.5%	100.0%	15.9%	6.0%	1.3%	3.3%	5.3%	11.9%	6.6%	17.2%	25.2%	7.3%	100.0%
小学5年生	11	35	64	120	230	30	25	11	8	10	15	26	19	71	19	234
	4.8%	15.2%	27.8%	52.2%	100.0%	12.8%	10.7%	4.7%	3.4%	4.3%	6%	11%	8%	30%	8%	100.0%
中学2年生	11	19	33	34	97	28	25	20	4	5	5	11	5	54	12	169
	11.3%	19.6%	34.0%	35.1%	100.0%	16.6%	14.8%	11.8%	2.4%	3.0%	3%	7%	3%	32%	7%	100.0%

(8) 図書の入手場所 (3つまで)

年代	図書館	学校	児童館	公民館	学童	自分の家	友達の家	書店等	塾	コンビニ	その他	計
小学3年生	103	222	6	5	31	211	10	32	7	1	11	639
	16.1%	34.7%	0.9%	0.8%	4.9%	33.0%	1.6%	5.0%	1.1%	0.2%	1.7%	100.0%
小学5年生	84	203	4	4	14	196	12	22	5	0	16	560
	15.0%	36.3%	0.7%	0.7%	2.5%	35.0%	2.1%	3.9%	0.9%	0.0%	2.9%	100.0%
中学2年生	18	60	0	2	0	126	10	15	1	2	5	239
	7.5%	25.1%	0.0%	0.8%	0.0%	52.7%	4.2%	6.3%	0.4%	0.8%	2.1%	100.0%

(9) 家庭以外での読み聞かせ体験

年代	よくある	たまにある	よくある・たまにあるときの体験場所(複数回答可)						1か月の回数					ない	ない理由(複数回答可)						計
			図書館	保育園 幼稚園	児童館 公民館	子育て サークル	その他	計	1回以下	2~3回	4~5回	6回以上	計		忙しい	子どもが 小さい	子どもの 興味が ない	場所が 分からない	その他	計	
年少	47	28	1	72	1	1	6	81	5	10	6	53	74	78	28	2	12	38	8	88	153
	30.7%	18.3%	1.2%	88.9%	1.2%	1.2%	7.4%	100.0%	6.8%	13.5%	8.1%	71.6%	100.0%	51.0%	31.8%	2.3%	13.6%	43.2%	9.1%	100.0%	100.0%
年長	41	48	7	73	5	1	9	95	17	26	10	30	83	94	42	1	16	47	9	115	183
	22.4%	26.2%	7.4%	76.8%	5.3%	1.1%	9.5%	100.0%	20.5%	31.3%	12.0%	36.1%	100.0%	51.4%	36.5%	0.9%	13.9%	40.9%	7.8%	100.0%	100.0%

(10) 読書する場所 (3つまで)

年代	図書館	学校	児童館	公民館	学童	自分の家	友達の家	書店等	塾	コンビニ	その他	計
小学3年生	103	222	6	5	31	211	10	32	7	1	11	639
	16.1%	34.7%	0.9%	0.8%	4.9%	33.0%	1.6%	5.0%	1.1%	0.2%	1.7%	100.0%
小学5年生	84	203	4	4	14	196	12	22	5	0	16	560
	15.0%	36.3%	0.7%	0.7%	2.5%	35.0%	2.1%	3.9%	0.9%	0.0%	2.9%	100.0%
中学2年生	18	60	0	2	0	126	10	15	1	2	5	239
	7.5%	25.1%	0.0%	0.8%	0.0%	52.7%	4.2%	6.3%	0.4%	0.8%	2.1%	100.0%

(11) 図書について話しやすい人

年代	友達	家族	図書館	学校図書室	担任	児童館	公民館	学童	本屋	塾	その他	計
小学3年生	96	124	9	17	6	0	2	4	1	0	7	266
	36.1%	46.6%	3.4%	6.4%	2.3%	0.0%	0.8%	1.5%	0.4%	0.0%	2.6%	100.0%
小学5年生	120	110	3	12	3	0	1	2	1	1	12	265
	45.3%	41.5%	1.1%	4.5%	1.1%	0.0%	0.4%	0.8%	0.4%	0.4%	4.5%	100.0%
中学2年生	74	42	1	4	2	0	0	0	6	1	12	142
	52.1%	29.6%	0.7%	2.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.7%	8.5%	100.0%

(12) 家族の読書状況

年代	読む	読まない	分からない	計
小学3年生	132	65	87	284
	46.5%	22.9%	30.6%	100.0%
小学5年生	132	54	97	283
	46.6%	19.1%	34.3%	100.0%
中学2年生	57	42	38	137
	41.6%	30.7%	27.7%	100.0%

(13) 小さいときの読み聞かせの機会

年代	ある	ない	分からない	計
小学3年生	204	22	57	283
	72.1%	7.8%	20.1%	100.0%
小学5年生	236	10	33	279
	84.6%	3.6%	11.8%	100.0%
中学2年生	119	5	13	137
	86.9%	3.6%	9.5%	100.0%

(14) 自由な時間の過ごし方 (複数回答可)

年代	友達と遊ぶ	家族と遊ぶ	運動をする	読書する	マンガを読む	テレビ	インターネット	ゲーム	何もしない	その他	計
小学3年生	102	96	93	51	61	143	42	180	15	46	829
	12.3%	11.6%	11.2%	6.2%	7.4%	17.2%	5.1%	21.7%	1.8%	5.5%	100.0%
小学5年生	151	69	92	43	90	158	74	203	8	22	910
	16.6%	7.6%	10.1%	4.7%	9.9%	17.4%	8.1%	22.3%	0.9%	2.4%	100.0%
中学2年生	94	17	57	29	67	89	97	108	16	28	602
	15.6%	2.8%	9.5%	4.8%	11.1%	14.8%	16.1%	17.9%	2.7%	4.7%	100.0%

(15) 好きな本のジャンル (複数回答可)

年代	物語や童話	趣味	SF・推理	民話・昔話	伝記	図鑑	歴史	絵本	マンガ	その他	計
小学3年生	78	41	11	18	19	89	26	108	120	35	545
	14.3%	7.5%	2.0%	3.3%	3.5%	16.3%	4.8%	19.8%	22.0%	6.4%	100.0%
小学5年生	80	71	37	11	41	52	64	48	184	42	630
	12.7%	11.3%	5.9%	1.7%	6.5%	8.3%	10.2%	7.6%	29.2%	6.7%	100.0%
中学2年生	46	53	41	8	10	14	29	19	104	13	337
	13.6%	15.7%	12.2%	2.4%	3.0%	4.2%	8.6%	5.6%	30.9%	3.9%	100.0%

(16) 自分で買う本の種類

年代	雑誌	マンガ	小説	趣味	その他	計
中学2年生	7	90	21	12	6	136
	5.1%	66.2%	15.4%	8.8%	4.4%	100.0%

(17) 図書館の利用状況

年代	月1回以上	3か月に1回以上 (よく行く)	6か月に1回以上 (たまに行く)	年1回以上 (ほとんど行かない)	年間利用なし (利用したことがない)	頻りに利用しないときの理由 (複数回答可)							計	
						忙しい	遠い	場所が分からない	読みたい本がない	本に興味がない	子どもが騒ぐ	その他		計
年少	19	15	16	10	96	42	5	7	3	0	36	30	123	156
	12.2%	9.6%	10.3%	6.4%	61.5%	34.1%	4.1%	5.7%	2.4%	0.0%	29.3%	24.4%	100.0%	100.0%
年長	36	17	16	12	102	49	1	4	1	0	32	36	123	183
	19.7%	9.3%	8.7%	6.6%	55.7%	39.8%	0.8%	3.3%	0.8%	0.0%	26.0%	29.3%	100.0%	100.0%
小学3年生	35	0	96	96	47	59	16	34	16	21	-	23	169	274
	12.8%	0.0%	35.0%	35.0%	17.2%	34.9%	9.5%	20.1%	9.5%	12.4%	-	13.6%	100.0%	100.0%
小学5年生	16	0	98	122	41	58	34	39	24	24	-	23	202	277
	5.8%	0.0%	35.4%	44.0%	14.8%	28.7%	16.8%	19.3%	11.9%	11.9%	-	11.4%	100.0%	100.0%
中学2年生	4	0	20	83	30	49	19	18	35	39	-	25	185	137
	3%	0.0%	14.6%	60.6%	21.9%	26.5%	10.3%	9.7%	18.9%	21.1%	-	13.5%	100.0%	100.0%

(18) 図書館を利用する目的

年代	借りたい本・雑誌がある	子ども室利用	親子で気分転換	子の読書習慣定着	インターネット(Wi-Fi)	おはなし会	本のリクエスト	その他	計
年少	29	16	23	14	0	0	0	3	85
	34.1%	18.8%	27.1%	16.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	100.0%
年長	37	36	38	23	0	4	1	6	145
	25.5%	24.8%	26.2%	15.9%	0.0%	2.8%	0.7%	4.1%	100.0%

年代	本・雑誌を借りる	学習席利用	読書・気分転換	調べもの	インターネット(Wi-Fi)	本の相談	本のリクエスト	その他	計
小学3年生	79	8	34	37	2	4	11	24	199
	39.7%	4.0%	17.1%	18.6%	1.0%	2.0%	5.5%	12.1%	100.0%
小学5年生	90	8	41	25	1	0	0	9	174
	51.7%	4.6%	23.6%	14.4%	0.6%	0.0%	0.0%	5.17%	100.0%
中学2年生	15	8	8	4	1	1	2	2	41
	36.6%	19.5%	19.5%	9.8%	2.4%	2.4%	4.9%	4.9%	100.0%

(19) 図書館ホームページの閲覧状況

年代	見たことがある							見たことがない					計					
	閲覧内容(複数回答可)							予約の利用			見ない理由(複数回答可)							
	資料検索	行事業内	利用案内	映画会	休館日	その他	計	ある	ない	計	知らない	興味がない		インターネット環境がない	その他	計		
年少	37	10	8	18	1	20	0	57	4	32	36	117	66	36	1	15	118	154
	24.0%	17.5%	14.0%	31.6%	1.8%	35.1%	0.0%	100.0%	11.1%	88.9%	100.0%	76.0%	55.9%	30.5%	0.8%	12.7%	100.0%	100%
年長	39	16	9	20	2	23	0	70	6	33	39	137	82	48	0	16	146	176
	22.2%	22.9%	12.9%	28.6%	2.9%	32.9%	0.0%	100.0%	15.4%	84.6%	100.0%	77.8%	56.2%	32.9%	0.0%	11.0%	100.0%	100.0%
小学3年生	50	29	7	9	4	21	5	75	25	27	52	218	161	51	26	19	257	268
	18.7%	38.7%	9.3%	12.0%	5.3%	28.0%	6.7%	100.0%	48.1%	51.9%	100.0%	81.3%	62.6%	19.8%	10.1%	7.4%	100.0%	100.0%
小学5年生	44	34	15	8	4	19	3	83	16	27	43	232	168	66	11	19	264	276
	15.9%	41.0%	18.1%	9.6%	4.8%	22.9%	3.6%	100.0%	37.2%	62.8%	100.0%	84.1%	63.6%	25.0%	4.2%	7.2%	100.0%	100.0%
中学2年生	16	13	4	5	1	7	0	30	2	13	15	120	80	75	1	14	170	136
	11.8%	43.3%	13.3%	16.7%	3.3%	23.3%	0.0%	100.0%	13.3%	86.7%	100.0%	88.2%	47.1%	44.1%	0.6%	8.2%	100.0%	100.0%



(20) 好きな本上位10冊(未就学児はいくつでも、その他は3つまで)

※市立図書館で取扱のないコミック、携帯小説、ライトノベル等は除外しています。

①年少

(1位) だるまさん、(2位) はらぺこあおむし、各種図鑑、(3位) ノラネコぐんだん、アンパンマン、(4位) ノンタン、パンどろぼう、昔話、乗り物の本、(5位) おばけえほん(せなけいこ)、(6位) きんぎょがにげた、(7位) ぐりとぐら ほか

②年長

(1位) パンどろぼう、(2位) ノラネコぐんだん、各種図鑑、(3位) 恐竜の本、ミッケ、(4位) だるまさん、(5位) はらぺこあおむし、ポケモン、(6位) いちにちシリーズ、おばけの絵本、ディズニーの本、(7位) どんぐりむら ほか

③小学3年生

(1位) サバイバルシリーズ、(2位) しずくちゃん、(3位) 各種図鑑、(4位) (5位) (小説版・学習アニメ) 名探偵コナン、各種伝記、(6位) どっちが強い、(7位) ヨシタケシンスケシリーズ、ノラネコぐんだん、かいけつゾロリ、すみっコぐらし ほか

④小学5年生

(1位) サバイバルシリーズ、(2位) 絶叫学級、(3位) どっちが強い、(4位) 各種伝記、(5位) 五分後に意外な結末シリーズ、(6位) 学研ひみつシリーズ、(7位) ヨシタケシンスケシリーズ、かいけつゾロリ、(8位) ノラネコぐんだん、学校ではおしえてくれない大切なこと、ドラえもん(学習シリーズ) ほか

⑤中学2年生

(1位) ワンピース、(2位) 五分後に意外な結末シリーズ、(小説版) ブルーロック、(3位) (小説版) 文豪ストレイドッグス、(4位) 君の膵臓をたべたい、(小説版) 名探偵コナン、絶叫学級、銭天堂、学研ひみつシリーズ、(小説版) SPY×FAMILY ほか

(21) よく読み聞かせをする絵本上位10冊(いくつでも)

①年少

(1位) ノラネコぐんだん、ノンタン、各種図鑑、(2位) ぐりとぐら、はらぺこあおむし、だるまさん、パンどろぼう、おばけえほん(せなけいこ)、昔話、(3位) アンパンマン ほか

②年長

(1位) パンどろぼう、(2位) もこもこもこ、昔話、(3位) ミッケ、はらぺこあおむし、からすのぱんやさん、ノラネコぐんだん、ぐりとぐら、ノンタン、どんぐりむらシリーズ ほか

資料3 学校図書館貸出冊数推移

1 抽出年度

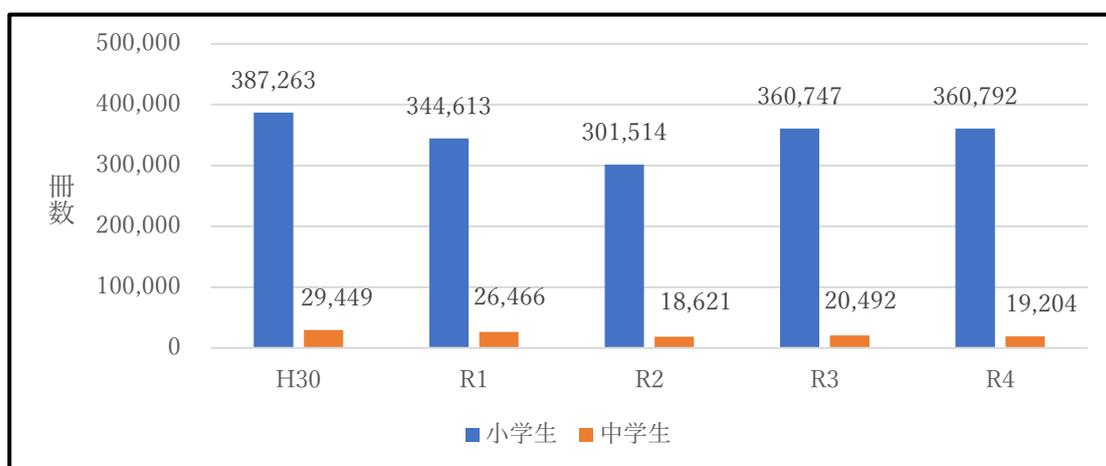
平成30年度～令和4年度

2 対象

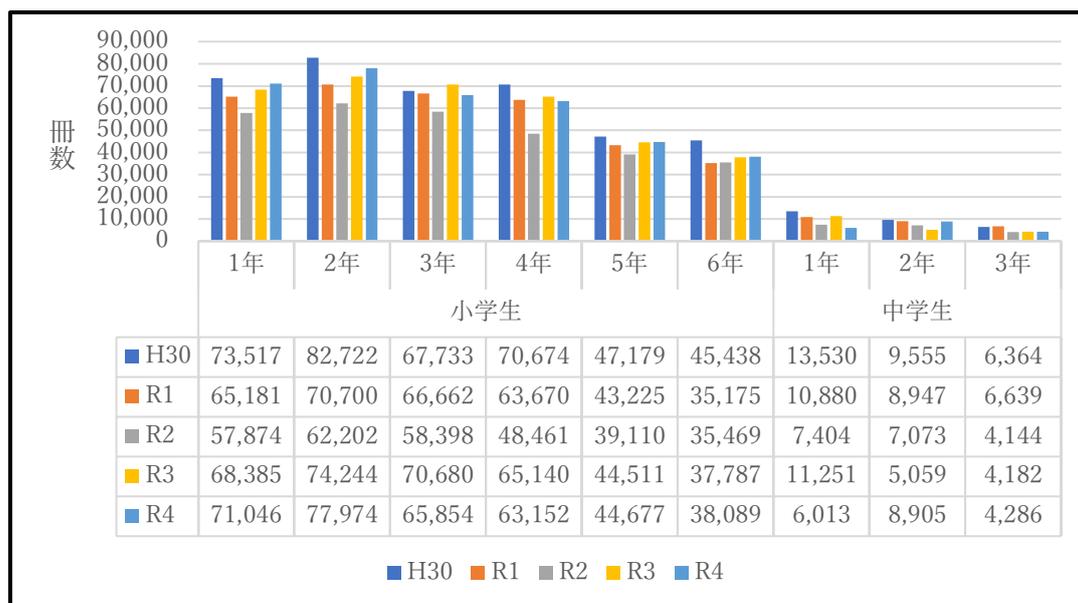
市内公立の小学校（11校）及び中学校（5校）

3 貸出状況

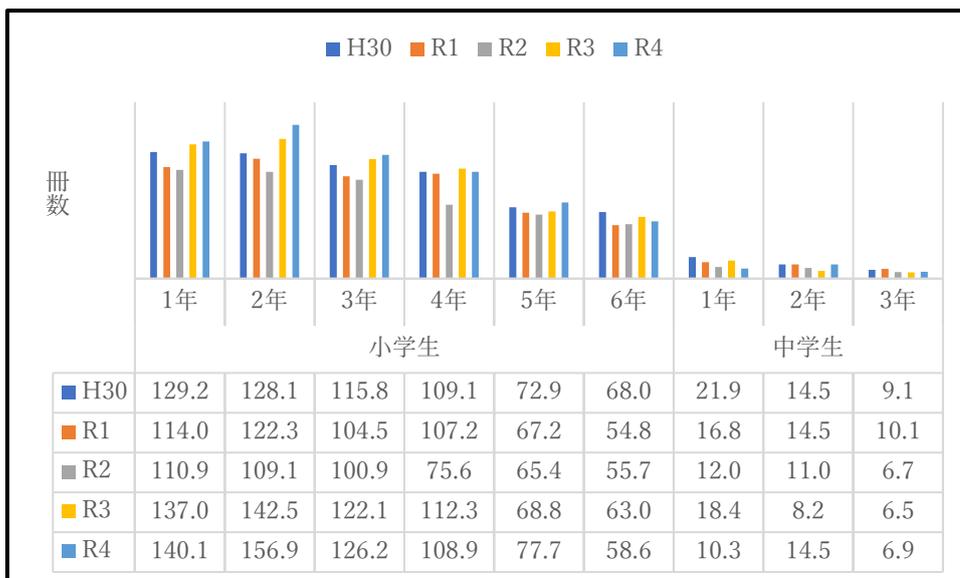
(1) 年間貸出冊数



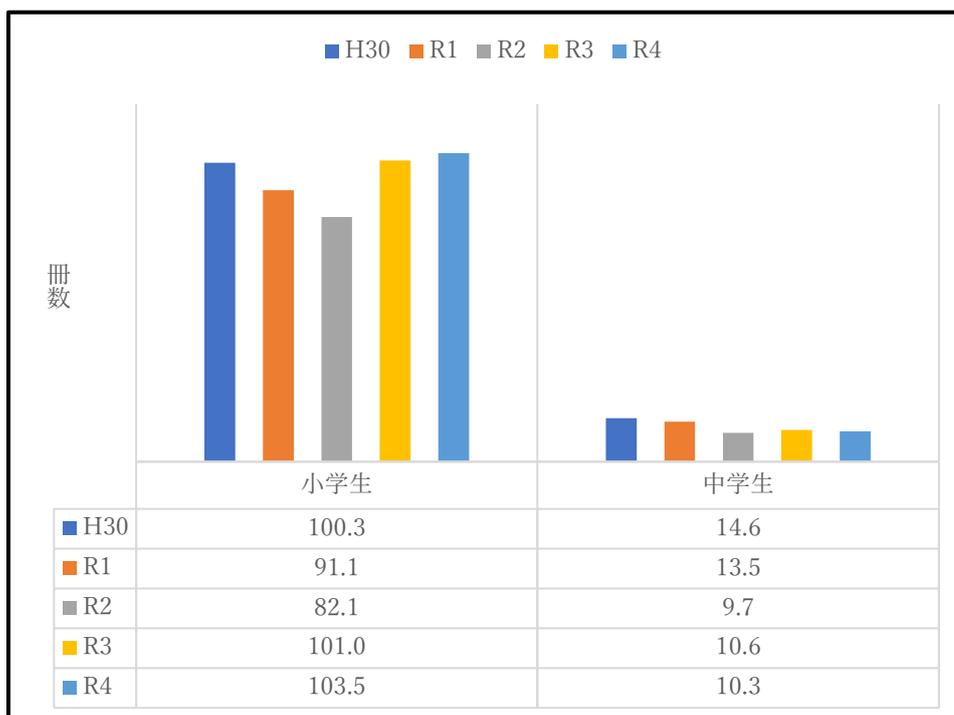
(2) 学年別貸出冊数



(3) 学年別一人あたり平均貸出冊数



(4) 児童・生徒一人当たりの平均貸出冊数



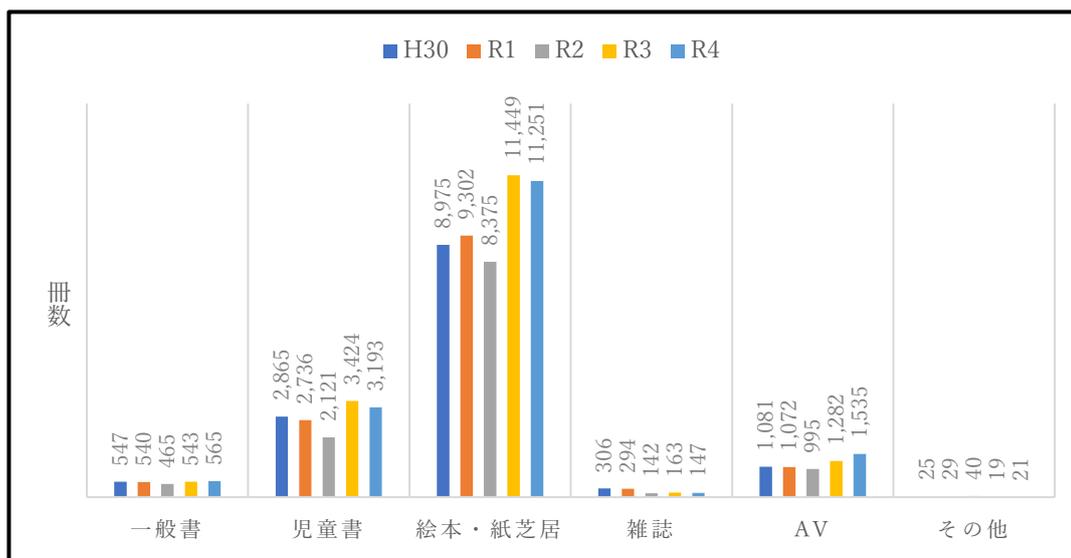
資料4 館林市立図書館年代別分類別貸出冊数推移

1 抽出年度

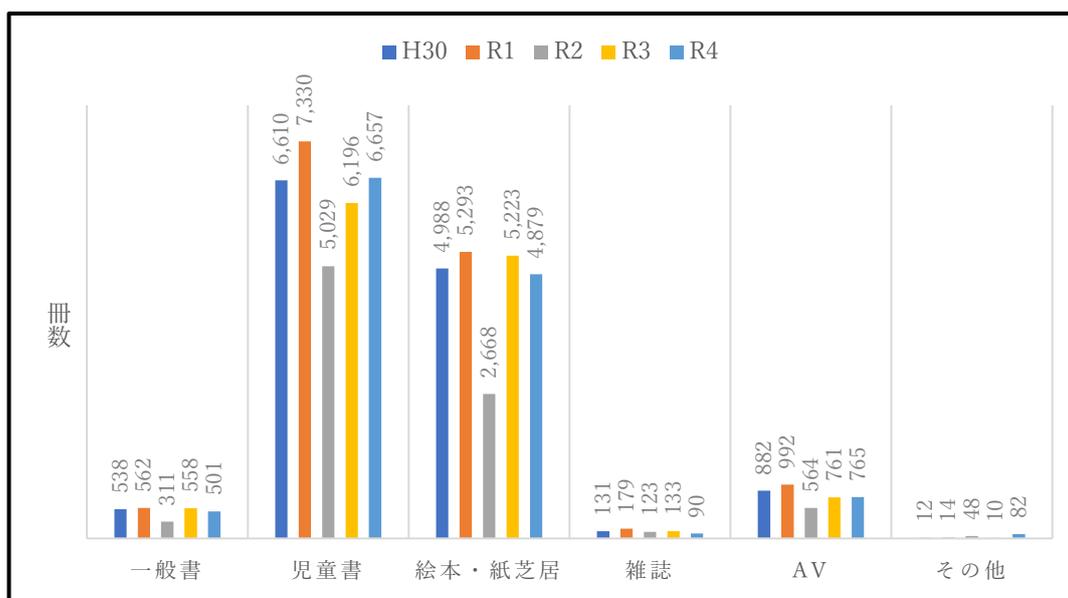
平成30年度～令和4年度

2 年代別分類別貸出状況

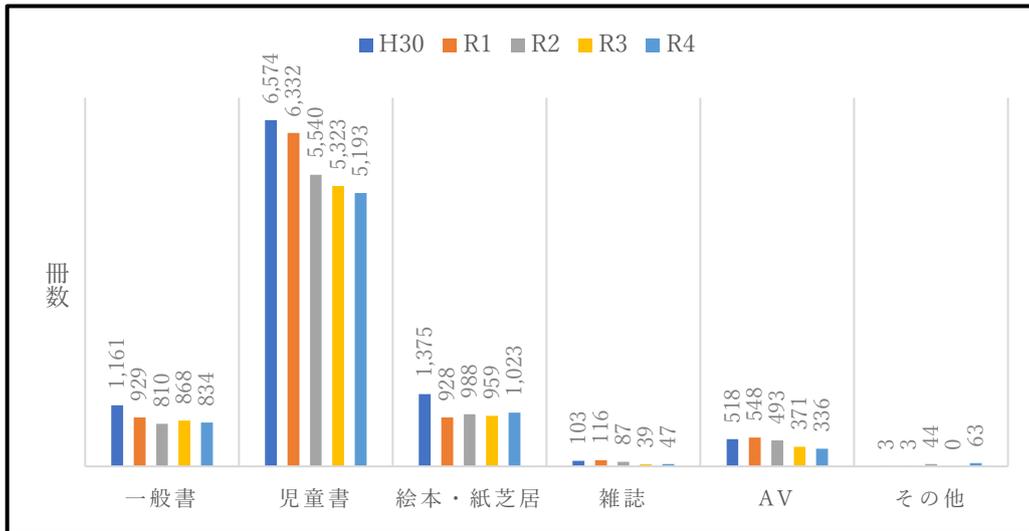
(1) 6歳以下



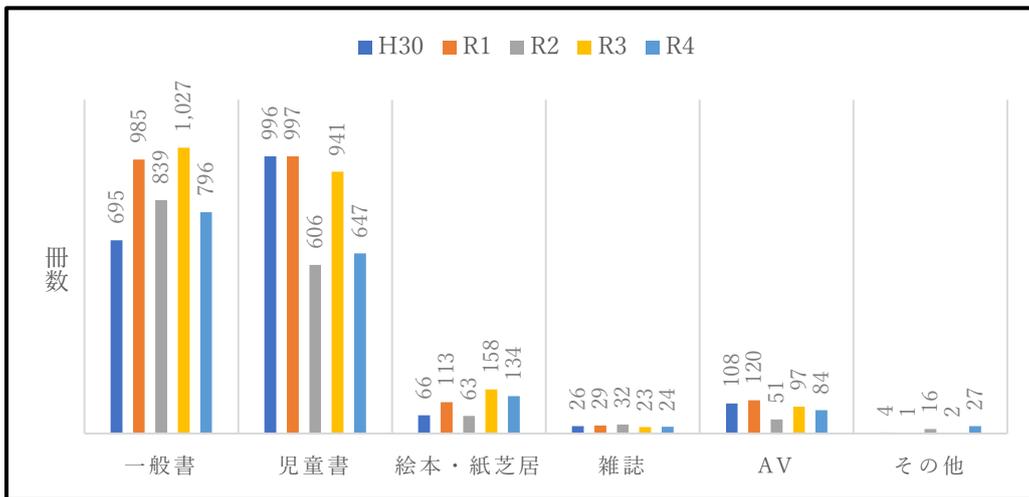
(2) 7歳～9歳



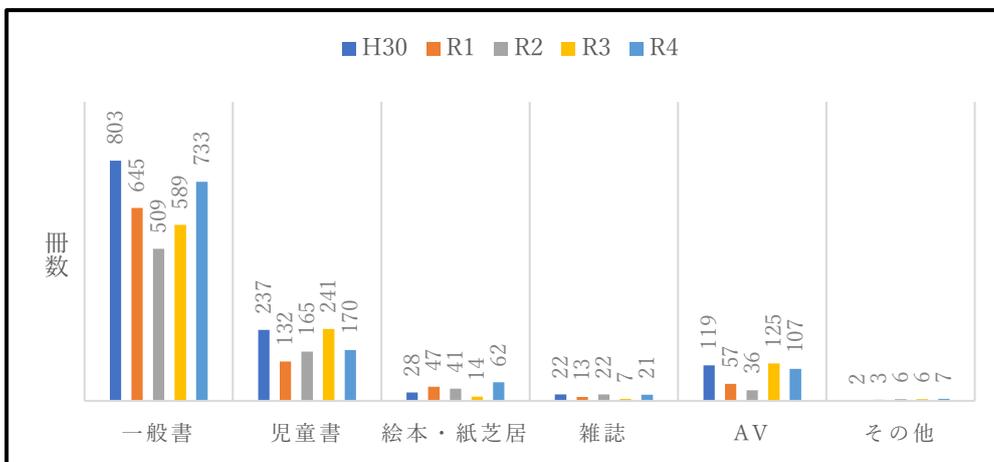
(3) 10歳～12歳



(4) 13歳～15歳



(5) 16歳～18歳



資料5 策定までの経緯

平成21年	3月	館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン（第一次）策定
平成26年	3月	館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン（第二次）策定
平成31年	3月	館林市子ども読書活動推進計画こんこん読書プラン（第三次）策定
令和5年	4月25日	第四次子ども読書活動推進計画に係る施設動向調査
	5月10日	保育園・幼稚園・子ども園 園長会議にて、第四次子ども読書活動推進計画に係る意識調査への協力依頼
	5月29日	小中学校校長会議にて、第四次子ども読書活動推進計画に係る意識調査への協力依頼
	5月30日	第四次子ども読書活動推進計画に係る意識調査の実施
	7月14日	第1回館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議
	8月31日	第1回館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議作業部会
	11月14日	パブリックコメントの掲載依頼（広報紙、市HP）
	11月17日	第2回館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議
	12月19日	庁議にてパブリックコメント実施予定の報告
	12月20日	第2回館林市立図書館協議会
	12月21日	教育委員会定例会にてパブリックコメント実施予定の報告
令和6年	1月 8日	パブリックコメントの実施（2月7日まで）
	1月	パブリックコメント結果の掲載依頼（市HP）
	2月	第3回館林市立図書館協議会
	2月20日	庁議にてパブリックコメント実施結果の報告
	2月21日	教育委員会定例会へ議案の提出
	3月	パブリックコメント結果の掲載（市HP）
	3月	市議会へ計画策定の報告
	4月 1日	計画の施行、関係機関へ資料の配布

資料6 館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議設置要綱（平成30年7月1日館林市教委告示第14号）

館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議設置要綱

（設置）

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づき、館林市子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）を策定するため、館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

（協議事項）

第2条 検討会議は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 計画の策定及び見直しに関すること。
- (2) 計画の進捗状況及び評価に関すること。
- (3) その他子どもの読書活動の推進に関すること。

（組織）

第3条 検討会議は、別表に掲げる者で組織する。

- 2 委員長は、教育次長をもって充て、検討会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、図書館長をもって充て、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第4条 検討会議は、委員長が招集し、その会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、検討会議に前条に定める者以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（部会）

第5条 検討会議は、特定の課題について協議を行うため、部会を置くことができる。

- 2 部会の委員は、検討会議の委員から推薦された職員をもって組織する。

（庶務）

第6条 検討会議の庶務は、館林市立図書館において処理する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則 この要綱は、告示の日から施行する。

別表（第3条関係）

教育委員会教育次長
教育委員会図書館長
教育委員会教育総務課長
教育委員会生涯学習課長
教育委員会学校教育課長
教育委員会文化振興課長
教育委員会向井千秋記念子ども科学館長
市民環境部市民協働課長
こども局こども課長
保健福祉部健康推進課長

資料7 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月12日法律第154号）

子どもの読書活動の推進に関する法律

（目的）

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。



第四次館林市子ども読書活動推進計画

こんこん読書プラン

令和6年3月

(製作) 館林市教育委員会

(編集) 館林市子ども読書活動推進計画庁内検討会議

(事務局) 館林市立図書館

〒374-0018 館林市城町3番1号

TEL.0276-74-2346

メールアドレス library@city.tatebayashi.gunma.jp